BUFFALO

TeraStation
トラブルシュート集

第４版

改版履歴

初版	
第 2 版	誤字修正
第 3 版	誤字修正
第 4 版	「よくある質問」項目を追加 「初期設定」項目を追加 「ディスクエラー」項目を追加 「TeraStation 保守サービス」項目を追加 「アクセスできない・接続できない」項目へ「ネットワークドライブへアクセスできなくなった」を追加 「アクセスできない・接続できない」項目へ「share フォルダへアクセスできなくなった」 を追加 「バックアップ」項目へ「USB ハードディスクへのバックアップが失敗する」を追加 「バックアップ」項目へ「設定画面でバックアップ先が選択できない」を追加 「アクセス制限」項目へ「アクセス制限の仕様」を追加 「アクセス制限」項目へ「ドメインログオン機能を設定する場合の注意点」を追加

目次

よくある質問

初期設定

アクセスできない・接続できない

バックアップ

アクセス制限が機能しない

設定画面

ディスクエラー

修　理

【質問】どのようにTeraStationを使用したらいいですか

回答① WEB設定画面にて、バックアップの設定、アクセス制限などの設定が行えます

【NAS Navigatorを使用する方法】

1.[スタート]－[（すべての）プログラム]－[BUFFALO]－[BUFFALO NAS Navigator]－[BUFFALO NAS Navigator]を選択します。

2.設定画面を表示したいTeraStationを選択し、設定から[WEB設定画面を表示]を選択します。

3.[ネットワーク パスワードの入力]画面が表示されます。以下を入力し［OK］をクリックします。

[ログイン時のユーザ名、パスワード]

・[ユーザー名]：「**admin**」を入力します。
・[パスワード]： 設定したパスワードを入力します。
工場出荷時は「**password**」と設定されています。

【WebブラウザからWEB設定画面を表示する方法】

TeraStationのIPアドレスがわかっている場合、WEBブラウザからTeraStationのIPアドレスを直接入力して設定画面を表示することができます。

1.Internet Explorerを起動します。

2.[アドレス]の欄にTeraStationのIPアドレスを入力し「Enter」キーをクリックします。
例：「 192.168.11.150 」

3.「ネットワークパスワード入力」画面が表示されます。以下を入力し［OK］をクリックします。

[ログイン時のユーザ名、パスワード]

・[ユーザー名]：「**admin**」を入力します。
・[パスワード]： 設定したパスワードを入力します。
工場出荷時は「**password**」と設定されています。

バックアップの設定、アクセス制限設定など、詳細な設定手順につきましては、設定ガイドをご参照ください。

回答②　共有フォルダへ接続し、フォルダ、ファイルの作成、読み込み、書き込みが行えます

出荷時は共有フォルダ share が作成されております。WEB 設定画面にて新規に共有フォルダの作成も可能です。
共有フォルダをネットワークドライブへ割り当てることにより、エクスプローラよりアクセス可能となります。

【手順１】ユーティリティを使用してネットワークドライブに割り当てる

1. ［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［BUFFALO NAS Navigator］－［BUFFALO NAS Navigator］を選択します。
2. 該当する TeraStation を選択し、[開く（フォルダを開く)］ボタンをクリックします。
3. TeraStation の共有フォルダのアイコンを「右クリック」します。
※　TeraStation の初期設定時は、｢Share｣フォルダになります。
4. ［ネットワークドライブの割り当て］ アイコンをクリックします。
5. ［ドライブ名］ を選択します。
（既存のドライブ名と競合しないように、Z:等に設定します。）
6. ［ログオン時に再接続する］ のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。
7. ［OK］をクリックします。（Windows 2000 は［完了］をクリックします。）
［マイコンピュータ］ の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されます。

【手順２】IP アドレスを使用してネットワークドライブに割り当てる

TeraStation の IP アドレスを確認後、TeraStation の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当てます。

1. ［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［BUFFALO NAS Navigator］－［BUFFALO NAS Navigator］を選択します。
2. BUFFALO NAS Navigator が起動し、検索された TeraStation の IP アドレスを確認します。

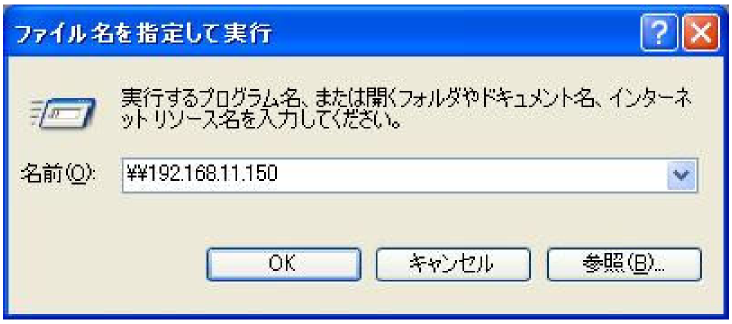


3. 確認したら右上の×ボタンをクリックし、BUFFALO NAS Navigator を終了します。

4.　［スタート］から［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

5.　［名前］の欄に、手順 2 で確認した TeraStation の IP アドレスを以下のように入力します。
¥¥（TeraStation の IP アドレス）

＜例＞
TeraStation の IP アドレスが「192.168.11.150」の場合は、「名前」欄に「¥¥192.168.11.150」と入力してください。



6.　［OK］をクリックします。

7.　TeraStation の共有フォルダのアイコンを右クリックします。
※　TeraStation の初期設定時は、「Share」フォルダです。

8.　［ネットワークドライブの割り当て］　をクリックします。

9.　［ドライブ名］　を選択します。
（ご利用のドライブ名（E:等）と競合しないようにずらして設定します。）

10.　［ログオン時に再接続する］　のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

11.　［OK］をクリックします。
Windows Vista/2000 をお使いの方は、［完了］をクリックします。）

12.　［マイコンピュータ］　の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

【質問】TeraStation のデータをバックアップするにはどうしたらいいですか

回答　WEB 設定画面の設定にて、バックアップの設定を行います

TeraStation は TeraStation に接続された対応 USB ハードディスクや他の対応 TeraStation、LinkStation に、データをバックアップすることができます。
バックアップの設定は、Web 設定画面から行います。
バックアップの詳細な設定手順につきましては、設定ガイドをご参照ください。
バックアップが出来ない、バックアップログの保存先、確認方法などにつきましては、本トラブルシュート集、バックアップの項目もご参照ください。
※パソコンのデータをバックアップする場合は、簡単バックアップをパソコンへインストールいただき設定ください。
※TeraStation の設定にて、TeraStation のデータをパソコンや、対応以外の機器へのバックアップ設定はできません。

【質問】アクセス制限はどのようにかけられますか

回答　各パソコンへのログイン時のユーザにて、共有フォルダ単位でアクセス制限をかけることができます

アクセス制限は、ワークグループ環境にて使用、ドメイン認証機能にて使用にかかわらず、各パソコンへログイン時のユーザ ID にて動作する動作となります。
※必ず、各パソコンへ、個別のユーザ ID、パスワードにてログインする必要があります。

アクセス制限は共有フォルダ単位で設定します。
※共有フォルダ内に保存されたファイルやフォルダなどに個別に設定することはできません。

動作例）
・パソコン（PCA）に、ユーザ ID（USERA）、パスワード（APASSWORD）でログインした状態
・TeraStation に、ユーザ名（USERA）、パスワード（APASSWORD）を設定
共有フォルダ（share）に、ユーザ名（USERA）のみを読書可能とした場合に、共有フォルダ（share）に対してパソコン（PCA）よりアクセスしたとき、に読書可能となる。その他のユーザからはアクセスできないという動作となります。

※ユーザ ID（USERA）以外がログインしているパソコンから共有フォルダ（share）、
アクセスした際、ユーザ名とパスワードを聞かれますが、ここでアクセス可能な
ユーザ、パスワード（今回ですとユーザ名（USERA）、パスワード（APASSWORD））を入力されますと
アクセスできたり、できなくなったり、接続の動作が不安定になる場合がございます。

【質問】ウイルスからの感染を防ぐためには、どうしたらよいですか

回答　TeraStation のディスク自体に感染することはありませんが、データファイルに感染する可能性がありますので、ネットワーク経由にてウィルススキャンを実施してください

LinkStation、TeraStation シリーズには、ディスク自体にウイルスが感染することはございません。

ただし、書きこまれている LinkStation、TeraStation 内部のデータファイルに対して感染する可能性はございます。

LinkStation、TeraStation の制御システムは、Windows とは異なる独自のシステムを採用致しております。
そのため、Windows が感染する可能性があるウイルスに感染することはございません。
また、ウイルススキャンソフトを TeraStation、LinkStation へインストールすることはできません。

■ウイルス感染を防ぐためには

LinkStation、TeraStation シリーズには、　ファイアーウォール機能（外部からのウイルス感染対策）はありません。

LinkStation、TeraStation にウイルス感染したファイルがありますと、ファイル共有等の操作によりネットワーク内のほかのパソコンにも感染する恐れがありますので、　定期的に“ウイルスチェック”を行う事をお勧めします。
（「ウイルスチェック」に関する操作方法につきましては、各ソフトウェア様にご相談ください。）

同じネットワーク内のパソコン（LinkStation、TeraStation がつながっているパソコン）がウイルスに感染しないようご注意ください。

また、インターネット環境で使用する場合は、ルーター経由で LinkStation、TeraStation を接続し、インターネット環境から LinkStation、TeraStation が直接見えないようにすることをお勧め致します。

【質問】搭載されている OS は何ですか

回答　Windows、Macintosh とは異なる独自 OS を採用しています。

LinkStation、TeraStation の制御システムは、Windows とは異なる独自のシステムを採用しております。
詳細については非公開です。

【質問】電源の落とし方はどうすればいいですか

回答　電源ボタンもしくは、WEB 設定画面からシャットダウンできます

電源ボタンを 3 秒ほどの長押し（ピッという音の確認後、押すのを止める）、もしくは WEB 設定画面のメンテナンス、シャットダウンよりシャットダウンを実施してください。

電源ボタンの 10 秒ほどの長押し、または、電源ケーブルを抜く手順にて電源を落とされますと、強制電源断となり、次回起動時データの破損、EM（復旧モード）の発生、正常に起動しないなどの症状が発生する可能性がございます。

【質問】デフラグを実行できますか

回答　TeraStation に対してデフラグを行うことはできません

TeraStation は、採用ファイルシステムの仕様によりフラグメント（断片化）しにくい仕様になっています。
そのため、デフラグは不要であり、製品機能としても搭載しておりません。

【質問】TeraStation の名称(ホスト名)はどう確認すればいいですか

回答　NAS Navigator や WEB 設定画面で確認できます

TeraStation の名称（ホスト名）は、NAS Navigator や WEB 設定画面で確認できます。
WEB 設定画面にて名称（ホスト名）を変更することが可能です。

TeraStation の工場出荷時の TeraStation 名は以下のように設定されています。

TS-HTGL/R5 シリーズ	:	**TS-HTGLxxx**
TS-RHTGL/R5 シリーズ	:	**TS-RHTGLxxx**
TS-TGL/R5 シリーズ	:	**TS-TGLxxx**
HS-DHTGL/R5 シリーズ	:	**HS-DHTGLxxx**

（「xxx」には、TeraStation の MAC アドレスの下３桁の半角英数文字が入ります。）

例：TS-HTGL/R5 シリーズの MAC アドレスが「000740 123ABC」の場合、
下３桁の「ABC」が末尾に表示され、TeraStation 名は TS-HTGLABC となります。

※MAC アドレスは、TeraStation の背面に記載されている 12 桁の英数文字です。

※MAC アドレスは、TeraStation それぞれで異なります。

※TeraStation 名は、半角英数字で構成されます。

【質問】USB 接続でパソコンと TeraStation を接続できますか

回答　USB 接続はできません。TeraStation は LAN 接続のみ可能です。

TeraStation に搭載されている USB ポートからパソコンの USB ポートへ接続することはできません。
TeraStation とパソコンは、LAN ポートによる接続のみになります。
また、TeraStation を別の LinkStation/TeraStation と USB ケーブルで接続しても使用することはできません。

【質問】別容量の内蔵ハードディスクを取り付けて動作しますか

回答　正常に動作しません

TeraStation の内蔵ハードディスクを交換する場合は、弊社製の製品ごとの該当交換用ハードディスクのみドライブ交換が可能です。別の容量のハードディスク、別製品の交換用ハードディスクでは、正常に動作しません。

なお、RAID1、RAID5、RAID10 が構成されているハードディスクが一台故障した場合は、再構築（リビルド）を行うことで、故障前の状態に戻すことができます。RAID0 モード、通常モードで構成されている TeraStation では、上記操作を行った場合でも、故障前の状態に戻すことはできません。

TeraStation のファームウェアは、「ハードディスク部分」と「ハードディスク以外の部分」で構成されます。上記対応製品以外の内蔵ハードディスクを取り付けた場合には整合性がとれなくなる為、正常動作させることはできません。

【質問】trashbox というフォルダが作成されます

回答　共有フォルダの設定でゴミ箱機能を使用するに設定すると作成されます

TeraStation のゴミ箱機能とは、ゴミ箱機能を設定した共有フォルダ内の、ファイルを削除すると、ゴミ箱フォルダが共有フォルダ内に自動的に作成され、その中にファイルを移動させる機能です。

ネットワーク上でファイルを削除した場合は、削除を取り消すことができません。しかし、ゴミ箱機能を予め有効に設定しておくことで、誤削除してしまった場合でも、一時的に保存されたゴミ箱フォルダからデータの復活ができます。

■製品共通の仕様と制限事項

・AFP 接続(Appletalk 通信) 時は使用できません。

・FTP 接続時は使用できません。

・ゴミ箱フォルダの中身を削除する場合は、ゴミ箱フォルダを開いてファイルを削除するか、
　ゴミ箱フォルダごと削除してください。

・ゴミ箱フォルダは、TeraStation の共有フォルダ、USB ハードディスクに、
　それぞれ一つずつ設定ができます。

【質問】鍵を購入することはできますか

回答　備品購入窓口より購入いただくことが可能です

本体のシリアル番号を確認いただき、ユーザ登録をお願い致します。
ユーザ登録の情報とあわせまして、備品購入窓口よりご購入依頼をしてください。

■ユーザ登録
http://buffalo.jp/support_s/mel-line/mel-line.html
■備品販売窓口
https://online.buffalo.jp/bihin/bi-han_1.html

【質問】24 時間連続の動作は問題ありませんか

回答　製品の電源を 24 時間入れたまま使用しても問題ありません

基本的に、電源を入れ続けて使用する場合、何度か電源を入れなおして使用する場合、
どちらも製品の寿命は特に変わりはありません。

強いていうならば、電源を入れ続けた方が寿命は長くなるといえます。頻繁に電源を入れたり、切る事で製品本体に初期駆動時の負荷がかかります。
一方、一度電源が入り、安定状態になったまま動作させる状態とでは、製品本体にかかる負荷が若干変わります。

なお、製品の動作環境にあわせて使用してください。

【質問】UPS と接続することはできますか

回答　対応の UPS を対応のケーブルで接続する必要があります

■対応 UPS
本機能に対応している UPS の型番、対応ケーブルなどについては以下のサイトを参照してください。
http://buffalo.jp/products/catalog/storage/terastation/ups/tera_ups.html
※上記以外の UPS には非対応であり、動作保証はできません。

■設定時の動作
本機能を設定することでそれぞれ下記の動作を行います。

1. UPS がオンバッテリに移行した後、
一定時間電源の復活が見られない場合、もしくは、BatteryLow になった場合に、
TeraStation を安全にシャットダウンする。

※オンバッテリ後、TeraStation がシャットダウンを開始するまでの時間は、
(5,30,60 秒)で変更が可能です。
※BatteryLow を検知してのシャットダウン機能は、
上記対応 UPS の USB 接続タイプのみ可能です。

2.「1」の機能によって TeraStation の電源がシャットダウンした際、
UPS からの電源供給を停止させる。

※「2」の機能を使用するか（UPS からの電源供給を停止させるか）は
「1」の機能を「使用する」に設定後、WEB 設定画面から設定できます。

3.「2」の機能によって UPS からの電源供給が停止している際、
UPS への電源が復旧した場合に、
「1」の機能によってシャットダウンしていた TeraStation を起動させる。
（UPS リカバー機能）

※「3」の機能を使用するか（UPS 復帰に伴い、TeraStation を起動させるか）は
「2」の機能を「使用する」に設定後、WEB 設定画面から設定できます。

■注意事項
・UPS 付属ユーティリティなどは使用しません。
(Terastation には、ソフトウェアをインストールすることはできません。)

・Smart-UPS シリーズと Terastation は **Smart Signaling** ケーブルで接続します。
※Simple Signaling では接続できません。

・UPS と TeraStation との接続は、UPS 専用ポート、もしくは USB にて接続します。

※UPS ケーブルは TeraStation には付属しておません。
※**一台の TeraStation に一台の UPS** を接続します。
しかし対応した分配器を使用することにより複数の TeraStation を
一台の UPS に接続することができます。
対応している分配器の型番は以下のサイトを参照してください。
http://buffalo.jp/products/catalog/storage/terastation/ups/tera_ups.html

・TeraStation が起動完了までの間に UPS（UPS 専用ポート型）の電源異常を検出した場合、
警告状態になりますが、シャットダウン動作へは移行しません。
（上記によって起動した場合、電源異常が回復するか、
TeraStation の WEB 設定画面で UPS を「使用しない」設定をを行うまで警告が持続します。）

・TeraStation の UPS 設定は必ず TeraStation と UPS を
それぞれ電源ケーブル、UPS/USB ケーブルで接続した後、行ってください。
※UPS が未接続時に設定した場合、「設定が正常に完了できない」、
もしくは「設定後 TeraStation がシャットダウンする」場合があります。

【質問】TeraStation 同士をミラー（RAID1）にすることはできますか

回答　できません

TeraStation 同士をミラー（RAID1）にすることはできません。
同一 TeraStation 内のハードディスク 2 台をミラー（RAID1）に設定することが可能です。

質問　システムログなどを取ることできますか

回答　システムログとファイル操作ログを取得することができます

TeraStationの設定(システム)ログやユーザのファイル操作ログを保存／閲覧することができます。
ログは以下の手順でWeb設定画面からファイルに保存できます。

1. WEB設定画面を表示します。
   WEB設定画面の表示方法はこちら
2. [システム状態]-[ログ情報]を選択します。
3. 出力したいログの種類を選択して[保存]をクリックします。
4. ファイル保存のダイアログが表示されたら任意の場所を指定して保存します。
5. ログが出力されます。(出力ファイル例　log.txt　)

ログとして出力されるのは次の3つです。

■システムログ

Web設定画面の閲覧／設定変更内容、各ソフトウェアの動作状態の記録

■ファイル操作ログ(SMB)

SMBプロトコル経由でファイル操作が行われた場合のファイル操作記録

■ファイル操作ログ(FTP)

FTPプロトコル経由でファイル操作が行われた場合のファイル操作記録

注意事項

※AppleTalk経由*でのファイル操作ログを取得／閲覧することはできません。
例　MacOS10.2未満からのアクセス、MacOS10.2以降のAFP接続でのアクセス)

ログファイルの容量を5分間隔でチェックし、特定の容量を超えるとログを削除します。

システムログ

ログの容量が100KBを超えているとログが削除されます。

ファイル操作ログ(SMB、FTP)

ログの容量が10MBを超えているとログが削除されます。

※ログの文字コードはUTF-8で保存されています。
UTF-8以外の文字コードでログファイルを閲覧すると文字化けします。

また、システムログとSMB接続のファイル操作ログはsyslogサーバに保存することが可能です。
syslogサーバはIPアドレスで指定します。

注意事項

※syslogサーバへの転送は、ログの生成と同時に行われます。

※syslogサーバへの転送は、TS-TGL/R5シリーズは文字コード「EUC」、
TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5シリーズは文字コード「UTF-8」で転送されるため、
お使いのエディタの文字コードをそれぞれ「EUC」「UTF-8」に設定してください。

【現象】ファイルの転送速度が遅い

原因　環境によって改善できる場合はありますが、一概に原因と呼べるものがありません

転送速度はネットワーク環境や接続されている機器、転送するデータの容量、数量、形式などによって
変動してしまう為、想定していた速度が出ない場合があります。
しかし、以下の事項を確認・実行することで転送速度が向上する場合があります。

■LAN ケーブルを製品添付のものに交換する。

機器の転送速度に LAN ケーブルが対応できない場合、通信の妨げとなってしまう場合があります。
TeraStation を接続する LAN ケーブルが古い場合は
製品に添付されていた LAN ケーブル(カテゴリー5e 批准)に交換してください。

■TeraStation の同時接続台数を８台以下にする

TeraStation へのアクセス(通信が発生している状態)が同時に９台以上のパソコンから行われていると
通信速度が低下する場合があります。
同時にアクセスするパソコンは８台以下にしてください。

■接続機器(HUB やルータなど)の接続速度を自動選択(オートネゴシエーション)にする

TeraStation の LAN ポートは接続機器との通信速度を自動的に設定します。
接続機器には通信速度を固定する機能を持っている場合がありますが、
通信速度を固定に設定した機器に TeraStation を接続した場合、
TeraStation の LAN ポートが正常に通信速度を設定できず通信が正しく行われない場合があります。
その場合は TeraStation が接続している LAN ポートのみでも
通信速度を自動選択にするようにしていただくと、通信が安定する場合があります。

■パソコンのファイアウォールやアンチウィルスソフトなどの常駐ソフトを無効にしてみる

パソコンと TeraStation とのデータの送受信を行う場合、ファイアウォールや常駐ソフトなどが
通信速度を低下させている可能性があります。
ファイアウォールや常駐ソフトを一時的に無効にして転送速度が向上するか試してください。

※ファイアウォールや常駐ソフトを無効化している間は、パソコンのセキュリティが低下しています。
　データ転送を行う必要がなくなったら、元の状態に戻すことを忘れないようにしてください。

【質問】　他の TeraStation などにバックアップしたデータはどのように戻せばいいですか

回答　手動でコピーしてください

TeraStation にはバックアップしたデータをバックアップ元に戻す機能はございません。
手動操作でファイルをコピーしてください。

【質問】　バックアップの世代管理はできますか

回答　世代管理は出来ません

TeraStation の仕様では世代を管理したバックアップを行う事はできません。

【現象】 Macintosh からアクセスしたときに日本語が文字化けする

原因　MacOS のバージョンや接続方法によっては 2 バイト文字が文字化けします

MacOS のバージョンや接続方法、TeraStation の型番によっては、文字コードロングファイルネームへの対応などにより 2 バイト文字が文字化けしてしまう場合があります。

■TeraStation (TS-TGL/R5 シリーズ)

●AFP(Appletalk)接続時

MacOS のバージョンによって制限内容が異なります。

■MacOS 8.6、9.0.4～9.2.2 の場合
- 拡張子を含めて 32 バイト以上の名称を持つファイルを、LinkStation、TeraStation へ新規作成、コピーすることはできません。
- 拡張子を含めて 32 バイト以上の名称を持つファイルは MacOS では表示されません。
- ファイルサイズが 2 ギガバイトを越えるファイルをコピーすることはできません。

■MacOS 10.0.4、10.1～10.1.5、10.2～10.2.8、10.3～10.3.9、10.4.4～、10.5～の場合(*)
- 拡張子を含めて 32 バイト以上の名称を持つファイルを、新規作成、コピーすることはできません。
- 拡張子を含めて 32 バイト以上の名称を持つファイルは表示されません。
- ファイルサイズが 2 ギガバイトを越えるファイルをコピーすることはできません。

(*)MacOS 10.4～10.4.3 を使用する場合、使用可能文字が制限される場合があります。
MacOS10.4.4 以降へのアップデートをお薦めします。

※半角英数は 1 文字=1 バイト、全角文字は 1 文字=2～4 バイトとして認識されます。

●SMB 接続時

- 全角(日本語)のファイル名は使用できません(文字化けが発生します)

■TeraStation (TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5 シリーズ)

●AFP(Appletalk)接続時

MacOS のバージョンによって制限内容が異なります。

■MacOS 8.6、9.0.4～9.2.2 の場合
- 拡張子を含めて 32 バイト以上の名称を持つファイルを、新規作成、コピーすることはできません。
- 拡張子を含めて 32 バイト以上の名称を持つファイルは表示されません。
- ファイルサイズが 2 ギガバイトを越えるファイルをコピーすることはできません。

■MacOS 10.0.4、10.1～10.1.5、10.2～10.2.8、10.3～10.3.9、10.4.4～、10.5～の場合(*)
- 最大 255 バイトまでのファイル名のファイルを表示可能です(ロングファイルネームに対応)。
- ファイルサイズが 2 ギガバイトを越えるファイルをコピーすることはできません。

(*)MacOS 10.4～10.4.3 を使用する場合、使用可能文字が制限される場合があります。
MacOS10.4.4 以降へのアップデートをお薦めします。

※半角英数は１文字＝１バイト　※全角文字は１文字＝２～４バイト　として認識されます。

●SMB 接続時

■MacOS 8.6、9.0.4～9.2.2 の場合
- 全角(日本語)のファイル名は使用できません(文字化けが発生します)。

■MacOS 10.0.4、10.1～10.1.5、10.2～10.2.8、10.3～10.3.9、10.4.4～、10.5～の場合
- 全角（日本語）ファイル名は文字化けせず使用できます。

質問　異なるネットワーク環境からアクセスする方法はありますか

回答　TeraStationの設定やネットワーク環境を設定することで外部からのアクセスを受け付けるようにすることができます

TeraStationの設定、および既存のネットワーク機器の設定を行うことで、
異なるネットワークから、TeraStationのデータを参照することができます。

設定方法は、以下手順のとおりです。

【手順１】LinkStation、TeraStationにデフォルトゲートウェイを設定します

LinkStation、TeraStationにデフォルトゲートウェイを、WEB設定画面から設定します。

１．TeraStationのWEB設定画面を開きます。
２．[ネットワーク]をクリックし、「IPアドレス設定」を確認します。
３．[DHCPクライアント機能]を「使用しない」に設定します。
４．[デフォルトゲートウェイ]にIPアドレスを入力します。
５．左下の[設定]をクリックします。
６．[設定が完了しました。現在IPアドレスを変更しています・・・]と表示されます。

※デフォルトゲートウェイに設定するアドレスは、通常はルータのIPアドレスです。
　ルータのIPアドレスが不明な場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

【手順２】既存のネットワーク機器（ルータ等）のポート公開設定します

ルータを介してWAN側からTeraStationへ ファイル共有させる場合､ルータに以下のポート公開設定が必要です。

※各ルータのポート開放などの設定は、ルータ添付のマニュアルを参照してください。

■注意

通常、ブロードバンドルータでは セキュリティのため、
WAN側に下表のポートのアクセスは通さないようにしています。
ポート公開設定をする場合、セキュリティが弱くなります。
バッファローではポート公開設定は推奨していません。
セキュリティ問題を理解した上で、設定を行ってください。

■Windowsファイル共有機能でファイルを共有する場合

設定項目	種別	ポート番号
MS-Windowsネットワーク（名前解決／nbname）	UDP/TCP	137
MS-Windowsネットワーク（データグラム転送／nbdatagram）	UDP	138
MS-Windowsネットワーク（ストリームデータ転送／nbsession）	TCP	139

■FTPでファイル共有する場合

設定項目	種別	ポート番号
FTP（ファイル転送プロトコル／Default Data）	TCP	20
FTP（ファイル転送プロトコル／Control）	TCP	21

質問　フォルダ、ファイル単位でアクセス制限は設定できますか

回答　仕様上、共有フォルダ単位でしかアクセス制限は設定できません

TeraStation のアクセス制限は共有フォルダ単位でしか設定できません。
共有フォルダ内に保存されているフォルダやファイルそのものに
アクセス制限を設定することはできません。

質問　TeraStation のファン（FAN）についてよくある質問

回答　FAN についてよくある質問については下記をご覧ください

■ファンが止まったり、回転速度が上がったりします。

ファンは TeraStation 内部の温度に合わせて回転速度をコントロールされています。
冷却が不要な低温時にはファンは停止します。

■ファンの回転速度を意図的に制御したい

ファンを意図的に停止または回転速度を変更させることはできません。

■ファンが故障した/交換したい

ファンが故障した場合は、修理センターで対応します。
ファンを市販品と交換することはサポート外の行為です。
また、ファンを交換してしまうと保証期間内であっても保証対象外製品となってしまいます。

【現象】添付ＣＤからの初期設定が失敗する

回答　手動で初期設定を実行します

添付 CD からセットアップに失敗する場合は、以下の手順で手動で初期設定。

【手順１】パソコンに NAS Navigator をインストールします

TeraStation の設定に必要な NAS Navigator をパソコンにインストールします。

例）Windows XP で添付 CD から NAS Navigator をインストールする場合

１.添付 CD をパソコンにセットして TeraNavigator を起動します。

２.[オプション]-[ソフトウェアの個別インストール]をクリックします。

３.BUFFALO NAS Navigator にチェックを入れて[インストール開始]をクリックします。
画面の指示に従ってインストールを進めます。

【手順２】電源プラグや LAN ケーブルを接続し、電源を入れます

TeraStation の電源プラグや LAN ケーブルを接続後、製品の電源を入れます。

例）TS-HTGL/R5 シリーズの場合

１.電源プラグ、LAN ケーブルを接続します。

２.LAN ケーブルのもう一方の端をルータやハブ、パソコンに接続します。

３.製品前面の電源ボタンを押し、電源を入れます。
※電源ランプが点滅から点灯に変わること、
ステータスランプが点灯していることを確認します。

【手順３】IP アドレスの設定を行います

TeraStation の IP アドレスの設定を行います。

※IP アドレスの変更には管理者用パスワードが必要です。
製品出荷時状態ではパスワードは“password”で設定されています。

例）Windows XP で TS-HTGL/R5 シリーズの IP アドレスを設定する場合

１.[スタート]-[すべてのプログラム]-[BUFFALO]-[BUFFALO NAS Navigator]-[BUFFALO NAS Navigator]をクリックし、NAS Navigator を起動します。
※ネットワーク内に LinkStation、TeraStation が複数台設置されている場合は
設定したい製品を選択します。

２.NAS Navigator で設定したい TeraStation を右クリックして[プロパティ]を選択します。

３.[IP アドレス]タブを選択しての IP アドレスの設定を行い[OK]ボタンを押します。
※[IP アドレスを自動的に取得する]にチェックを入れるか、
[IP アドレス]を入力します。

４.[管理者用パスワード]を入力して[OK]をクリックします。

【手順４】共有フォルダをネットワークドライブに割り当てます

TeraStation の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当てることで
Windows の[マイ コンピュータ]などからアクセス可能となります。

【現象】共有フォルダに突然アクセスできなくなった

原因①　LAN ケーブルが外れている/TeraStation の電源が OFF になっている

次の点を確認してください。
・ LAN ケーブルが正しく接続されているか確認する
・ パソコンと製品のケーブル不良や接続が不安定でないか確認する

LAN ケーブルが正しく接続されているか確認する

LAN ケーブルが正しく接続されているかどうかは、LinkStation・TeraStation のランプの状態で確認します。
LAN ケーブルを接続した状態で、ランプが以下の状態であれば正常です。

※正面の LINK/ACT ランプが点灯しない場合は、LAN ケーブル、LAN ケーブルの接続先（HUB のポートなど）、電源取得箇所を変更して確認します。
また、パソコンに取り付けた LAN アダプタ/ボード/カードのリンクランプが点灯しているかどうかも確認してください。
リンクランプが点灯しない場合は、LAN アダプタ/ボード/カードが正常に動作しているかご確認ください。

LinkStation

HD-LAN、HD-HLAN、HD-HLWG、 HD-HGLAN、HS-DGL シリーズの場合	
ランプ	状態
電源ランプ	点灯
LINK/ACT ランプ	点灯、または点滅*
DISK STATUS/FULL ランプ	４つとも点灯
DIAG ランプ	消灯

※HD-HLWG シリーズは無線接続時は消灯です。

LS-GL、HS-DHGL HS-DHGL/M シリーズの場合	
ランプ	状態
電源ランプ	点灯
LINK/ACT ランプ	点灯、または点滅
INFO ランプ	消灯
ERROR ランプ	消灯

LS-LGL、LS-LGL/M シリーズの場合	
ランプ	状態
電源ランプ	点灯
ステータスランプ	点灯、または点滅

LS-WTGL/R1 シリーズの場合	
ランプ	状態
電源ランプ	点灯
INFO/ERROR ランプ	消灯
LINK/ACT ランプ	点灯、または点滅

TeraStation

HD-HTGL/R5 シリーズ HS-DTGL/R5 シリーズの場合	
ランプ	状態
電源ランプ	点灯
LINK/ACT ランプ	点灯、または点滅*
DIAG ランプ	消灯
DISK STATUS/FULL ランプ	４つとも点灯
DISK ACCESS	４つとも消灯 （アクセス中は点滅）

HS-DHTGL/R5、TS-TGL/R5、 TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5 シリーズの場合	
ランプ	状態
電源ランプ	点灯
LINK/ACT ランプ	点灯、または点滅
FAIL ランプ	消灯
ERROR ランプ	消灯
MASSAGE ランプ	消灯
ACCESS ランプ	４つとも消灯 （アクセス中は点滅）

パソコンと製品のケーブル不良や接続が不安定でないか確認する

パソコンと TeraStation 間の LAN ケーブルが断線している、または、LAN ケーブルが接続されていない可能性があります。
次の点を確認または変更してください。
・接続するハブのポートを変更する
・ケーブルが断線していないかを確認する
・接続する LAN ケーブルを変更する

上記の全てを確認しても検索されないときは

上記を全て確認しても検索されないときは、製品の電源を OFF にし、再度 ON にした後再検索を行ってください。

ランプの状態の状態を確認する （TS-TGL/R5、TS-HTGL/R5、HS-DHTGL/R5、TS-RHTGL/R5 シリーズ）

正面のランプ表示は次のとおりです。

電源ランプ

ランプ表示	TeraStation の状態
緑色　　点灯	電源 ON 時
（消灯）	電源 OFF 時

LINK/ACT ランプ

ランプ表示	TeraStation の状態
緑色　　点灯	リンク時
（消灯）	LAN ケーブル未接続

MESSAGE ランプ

ランプ表示	TeraStation の状態
橙色　　点灯	メッセージ有り(※)
（消灯）	通常時

（※）メッセージ内容は TeraStation 前面の液晶ディスプレイをご参照ください。

ERROR ランプ

ランプ表示	TeraStation の状態
赤色　　点灯	エラー発生時(※)
（消灯）	通常時

（※）エラー内容は TeraStation 前面の液晶ディスプレイをご参照ください。

FAIL ランプ(1～4)

ランプ表示	TeraStation の状態
赤色　　点灯	ディスクエラー発生時
（消灯）	通常時

ACCESS ランプ(1～4)

ランプ表示	TeraStation の状態
赤色　　点灯	ディスクアクセス時
（消灯）	電源 OFF 時

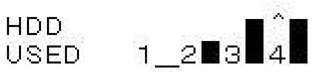
液晶ディスプレイの内容を確認する

HS-DHTGL/R5、TS-HTGL/R5、TS-TGL/R5、TS-RHTGL/R5 シリーズの液晶ディスプレイ表示は、液晶ディスプレイ右側の「MESSAGE」「ERROR」ランプの点灯状態で内容が異なります。

MESSAGE	ERROR	液晶ディスプレイ表示
（消灯）	（消灯）	■通常表示
【点灯】	（消灯）	■通常表示
		■状態表示
（消灯）	【点灯】	■通常表示
		■エラー表示・警告表示
【点灯】	【点灯】	■通常表示
		■状態表示
		■エラー表示・警告表示

通常表示

	液晶表示例	内容
LINK SPEED	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ ＮｏＬＩＮＫ	ネットワークに接続されていません。
	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ １０Ｍｂｐｓ　ＨＡＬＦ	10Mbps 半二重接続されています。
	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ １０Ｍｂｐｓ　ＦＵＬＬ	10Mbps 全二重接続されています。
	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ １００Ｍｂｐｓ　ＨＡＬＦ	100Mbps 半二重接続されています。
	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ １００Ｍｂｐｓ　ＦＵＬＬ	100Mbps 全二重接続されています。
	１ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ １０００Ｍｂｐｓ	1000Mbps 全二重接続されています。
HOST 名 IP アドレス	ＳＳＳ＿ＴＥＲＡ １９２．１６８．１１．１５０Ｆ	HOST 名と IP アドレスを表示します。 IP アドレス末尾には、F（固定 IP アドレス）か、D（DHCP サーバ機能による自動取得 IP アドレス）が表示されます。
カレンダー時計	ＤＡＴＥ　　　　　　ＴＩＭＥ ２００５／１０／１０　２２：３０	TeraStation に設定されている日時を表示します。
オペレーション MODE	ＨＤ　１－２－３－４ ＲＡＩＤ５	ハードディスク 1 から 4 を使用して、RAID5 を構成しています。
	ＨＤ　１－２－３－４ ＳＰＡＮＮＩＮＧ	ハードディスク 1 から 4 を使用して、スパニングを構成しています。

	ＨＤ　１，２，３，４ 　　ＳＩＮＧＬＥ	ハードディスク 1 から 4 を個々に使用しています。
	ＨＤ　１－２　：　ＲＡＩＤ１ 　　３－４　：　ＲＡＩＤ１	ハードディスク 1,2 と 3,4 を使用して、RAID1 を構成しています。
	ＨＤ　１－２　：　ＲＡＩＤ１ 　　３，４　：　ＳＩＮＧＬＥ	ハードディスク 1,2 で RAID1 を構成し、ハードディスク 3 と 4 を個々に使用しています。
	ＨＤ　１，２　：　ＳＩＮＧＬＥ 　　３－４　：　ＲＡＩＤ１	ハードディスク 1 と 2 を個々に使用し、ハードディスク 3,4 で RAID1 を構成しています。
ディスク容量		内蔵されているハードディスク１から４の使用容量を棒グラフで表示します。DiskFull 状態のハードディスクには「^」が表示されます。

状態表示

液晶表示例	内容
ＳＹＳＴＥＭ　　　　　　　Ｉ１０ ＴＯＯ　ＨＯＴ　！	システムの温度上昇が、保証値を超える可能性があります。 TeraStation の回りに物を置かないでください。 または設置場所を涼しいところに移動させてください。
ＨＤｘ　Ｗａｒｎｉｎｇ　　Ｉ１１ Ｂａｄ　Ｓｅｃｔｏｒｓ	x 番のハードディスクの不良セクタが危険な範囲に達する可能性があります。 x 番のハードディスクを交換してください。
ＯｐｅｒａｔｉｏｎＭｏｄｅ　Ｉ１２ ＤＥＧＲＡＤＥ　ＭＯＤＥ	RAID のデグレードモード動作中です。
ＲＡＩＤ　　　　　　　　　Ｉ１３ ＡＲＲＡＹｘＦｏｒｍａｔｔｉｎｇ	x 番の RAID アレイをフォーマット中です。
ＲＡＩＤ　　　　　　　　　Ｉ１４ ＡＲＲＡＹｘ　Ｃｈｅｃｋｉｎｇ	x 番の RAID アレイをチェック中です。
ＲＡＩＤ　　　　　　　　　Ｉ１５ ＡＲＲＡＹｘ　Ｓｃａｎｎｉｎｇ	x 番の RAID アレイのエラー状況を調査中です。 ※ 調査中は転送速度が低下します。
ＲＡＩＤ　　　　　　　　　Ｉ１６ ＡＲＲＡＹｘ　Ｃｒｅａｔｉｎｇ	x 番の RAID アレイを作成中です。
ＲＡＩＤ　　　　　　　　　Ｉ１７ ＡＲＲＡＹｘ　Ｒｅｓｙｃｉｎｇ	x 番の RAID アレイをリシンク中です。 リシンクは数時間かかります、再起動されますと再度初めから開始されますので、終了するまでお待ちください。 ※ リシンク中は転送速度が低下します。
ＲＡＩＤ　　　　　　　　　Ｉ１８ ＡＲＲＡＹｘ　Ｒｅｂｕｉｌｄｉｎｇ	x 番の RAID アレイを再構築中です。 ※ 再構築中は転送速度が低下します。
ＲＡＩＤ　　　　　　　　　Ｉ１９ ＡＲＲＡＹｘ　０　Ｆｉｌｌｉｎｇ	x 番の RAID アレイに 0 を埋めて完全にデータを消去しています。
ＤＩＳＫ　　　　　　　　　Ｉ２０ ＤＩＳＫｘ　Ｆｏｒｍａｔｔｉｎｇ	x 番のハードディスクをフォーマット中です。
ＤＩＳＫ　　　　　　　　　Ｉ２１ ＤＩＳＫｘ　Ｃｈｅｃｋｉｎｇ	x 番のハードディスクをチェック中です。
ＤＩＳＫ　　　　　　　　　Ｉ２２ ＤＩＳＫｘ　０　Ｆｉｌｌｉｎｇ	x 番のハードディスクに 0 を埋めて完全にデータを消去しています。
ＳＹＳＴＥＭ　　　　　　　Ｉ２３ Ｉｎｉｔｉａｌｉｚｉｎｇ	システム初期化中です。
Ｎｅｔｗｏｒｋ　　　　　　Ｉ２４ Ｓｅｔｔｉｎｇ　Ｃｏｎｆｉｇ	IP アドレスの取得などネットワークを設定中です。
ＳＹＳＴＥＭ　　　　　　　Ｉ２５ Ｆ／ＷＵＰＤＡＴＩＮＧ	TeraStation のファームウェアをアップデート中です。 ※ アップデート中は、電源をＯＦＦにしないでください。
ＷＥＢ　Ｓｅｔｔｉｎｇ　　Ｉ２６ Ｉｎｉｔｉａｌｉｚｉｎｇ	Ｗｅｂ設定初期化中です。
ＵＳＢ　Ｄｉｓｋｘ　　　　Ｉ２７ Ｃｈｅｃｋｉｎｇ	ｘ番の USB ハードディスクをチェック中です。
ＵＳＢ　Ｄｉｓｋｘ　　　　Ｉ２８ Ｆｏｒｍａｔｔｉｎｇ	ｘ番の USB ハードディスクをフォーマット中です。

エラー表示・警告表示

液晶表示例	内容	対策
ＳＹＳＴＥＭ　Ｅｒｒｏｒ　　Ｅ００ ＭＰＵ　Ｎｏ　Ｒｅｓｐｏｎｃｅ	システムが応答していません。	TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。 再度エラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
ＤＲＡＭ　ＬＩＮＥＳ　　Ｅ０１ ＤＡＴＡ　Ｆａｉｌｕｒｅ	内部の IC が一部正しく動作していません。	内部の IC が一部正しく動作していません。弊社修理センターへ修理を依頼してください。
ＤＲＡＭ　ＬＩＮＥＳ　　Ｅ０２ ＡＤＤＲＥＳＳ　Ｆａｉｌｕｒｅ		TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。 再度エラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
ＲＴＣ　Ｃｈｉｐ　　　Ｅ０３ Ｎｏ　ＲＴＣ　Ｃｌｏｃｋ		
ＳＹＳＴＥＭ　Ｅｒｒｏｒ　　Ｅ０４ Ｃａｎ‘ｔ　Ｌｏａｄ　Ｋｒｎｌ！	ファームウェアが破損しています。	復旧モードの場合は、ファームウェアのアップデートで復旧できる場合があります。 改善されない場合は、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
ＷＤＴ　　　　　　Ｅ０５ ＳＹＳＴＥＭ　Ｓｔｏｐｐｅｄ	システムがハングアップしました。	TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。 復旧モードの場合は、ファームウェアのアップデートで復旧できる場合があります。 改善されない場合は、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
ＵＰＳ　　　　　　Ｅ１０ Ｄｅｐｅｎｄｅｎｔ　Ｍｏｄｅ	停電により UPS のバッテリーで駆動している状態です。	システムを安全にシャットダウンします。 UPS に供給されている電源を確認して問題がなければ、TeraStation の電源を ON にしてください。
ＳＹＳＴＥＭ　Ｅｒｒｏｒ　　Ｅ１１ Ｆａｎ　Ｆａｉｌｕｒｅ	ファンの回転数に異常があります。	ファンに異物や埃がないか確認してください。異物や埃があったときは、ピンセットやエアダスター等で除去してください。 再度エラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
ＳＹＳＴＥＭ　Ｅｒｒｏｒ　　Ｅ１２ Ｃｏｏｌｉｎｇ　Ｆａｉｌｕｒｅ	システムの温度上昇が、保証値を超えました。	システムの温度上昇が、保証値を超えました。 TeraStation の回りに物を置かないでください。 または設置場所を涼しいところに移動させてください。
ＲＡＩＤ　Ｅｒｒｏｒ　　　Ｅ１３ ＡＲＲＡＹｘ　Ｅｒｒｏｒ	x 番の RAID アレイでエラーが発生しました。	RAID1、5 のときはデグレードモードとして動作します。x 番のハードディスクを交換してください。
ＲＡＩＤ　Ａｒｒａｙｘ　　Ｅ１４ Ｃａｎ’ｔ　Ｍｏｕｎｔ	x 番の RAID アレイがマウントできませんでした。	一度電源を OFF にした後、再び電源を ON にしてください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
ＨＤｘ　Ｅｒｒｏｒ　　　Ｅ１５ Ｍａｎｙ　Ｂａｄ　Ｓｅｃｔｏｒｓ	x 番のハードディスクの不良セクタが危険な範囲に達しました。	x 番のハードディスクを交換してください。

Hx Error E16 HDx Not Found	x 番のハードディスクが見つかりません。	x 番のハードディスクが接続されていない、またはx 番のハードディスクが故障している可能性があります。x 番のハードディスクを交換してください。
Chip Error E17 RTC Failure	基板が故障しています。	TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。 それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
Chip Error E18 SATA1 Failure		
Chip Error E19 SATA2 Failure		
Chip Error E20 USB Failure		
Chip Error E21 Ethernet Failure		
HDx Error E22 HD Can't Mount	ハードディスクのマウントに失敗しました。	ハードディスクのフォーマットを行ってください。フォーマットを行い、再起動した後でもエラーが出る場合には、ハードディスクを交換してください。 それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
HDx Error E23 HDx Is Faulty	エラーが発生し、x 番のハードディスクがRAID アレイから外されました。	x 番のハードディスクを交換してください。
SATAx Error E24 COMM. Failure	x 番のハードディスクとの通信に異常が発生しました。	TeraStation の再起動を行ってください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。

TeraStation の設置環境を変更していないか確認する

TeraStation の設置場所の変更や、ネットワーク環境の変更を行っている場合、アクセスできなくなる可能性があります。
TeraStation のネットワーク設定の初期化を行い、再度、Windows パソコンからセットアップを実行します。

※再セットアップは、TeraStation と同じネットワーク内のパソコンから行ってください。
※セットアップは添付 CD-ROM から行ってください。セットアップ用ユーティリティは弊社 WEB サイトからダウンロードが可能です。

ファイアウォール機能を無効にする

Windows の標準のファイアウォール機能が有効である場合や、セキュリティソフトが常駐している場合、TeraStation との通信が妨げられる可能性があります。ファイアウォール機能の無効化や常駐ソフト解除を行います。

ネットワークブリッジを削除する（Windows XP）

Windows XP の場合、[ネットワーク接続］内に［ネットワークブリッジ］が存在すると検索ができない場合があります。ネットワークブリッジが存在する場合は削除してください。

複数の LAN アダプタが有効になっていないか確認する

複数の LAN アダプタが有効になっていると、TeraStation との接続が正常に行われない場合があります。TeraStation に接続するための LAN アダプタ以外を無効にします。

ネットワーク用クライアントを確認する

TeraStation とファイル共有を行うためには、操作するパソコンにネットワーク用クライアントがインストールされている（有効になっている）必要があります。

ネットワーク用クライアントがインストールされているか確認します。

原因②　復旧モード（-EM）になっている可能性がある

LinkStation 名、TeraStation 名に「-EM」がついてアクセスできない

LinkStation、TeraStation 名称に（-EM）が付属している状態は、LinkStation、TeraStation の復旧モードです。
・LinkStation、TeraStation の名称は BUFFALO NAS Navigator から確認できます。
・また、前面液晶パネル搭載製品は、液晶パネルでも名称を確認できます。
・名称のどこに(-EM)が付属するかは、機種によって異なります。

LS-GL、HS-DHGL、HS-DHGL/M シリーズの場合

LS-GL-EM***、HS-DHGL-EM***と表示されます。※



HS-DHGL シリーズ

TS-HTGL/R5、HS-DHTGL/R5、TS-RHTGL/R5 シリーズの場合

TS-HTGL-EM***、HS-DHTGL-EM***、TS-RHTGL-EM***と表示されます。※



TS-HTGL/R5 シリーズ

TS-TGL/R5 シリーズの場合

TS-TGL-EM と表示されます。



TS-TGL/R5 シリーズ

※***の部分には、NAC アドレスの末尾 3 桁の文字が入ります。

復旧モードの場合は、ファイルの読み書きなどができません。ファームウェアアップデートにより復旧する場合があります。弊社 WEB サイトから適切なファームウェアをダウンロードし、再度アップデートを行ってください。

※検索に失敗する場合、ファームウェアアップデートに失敗する場合は、LinkStation、TeraStation のファームウェアが正常に動作していない可能性があります。修理センターで確認致しますので、修理センターまでご送付ください。

LinkStation・TeraStationのファームウェアのアップデート

アップデート作業は、必ずデータをバックアップした後、以下の点を注意して行ってください。

1. アプリケーションを全て終了させる（常駐型ソフトを含む）
   - アップデートを行うパソコンで、常駐しているソフト（セキュリティソフト等）がある場合や　ファイアウォール機能な場合、LinkStation・TeraStation の検索やアップデートプログラムに影響を与えることがあります。
   - また、アプリケーションが動作中で、パソコンに負荷がかかっている状態では　正常にアップデートできない場合があります。ソフトウェアのマニュアルなどを参考にして、一時的に無効・終了してからアップデートを行ってください。

2. 有線接続に変更する（無線接続の場合）
   無線接続時はデータの通信、転送が不安定になる場合があります。有線接続してからアップデートを行ってください。

3. パソコンとLANケーブルで直接接続する
   LinkStation・TeraStationが接続しているHUB等に発生するネットワークトラフィック等がパソコンから LinkStation・TeraStation のファームウェアデータ転送に影響を与えることがあります。可能な限り直接接続してアップデートを行ってください。

4. ファームウェアアップデートプログラムをパソコンから実行する
   ファームウェアアップデートプログラムをパソコンのローカルハードディスク以外に保存し、その場所から直接実行した場合、正常動作しない可能性があります。
   ※TeraStation内部、フロッピーディスク等に保存されている場合

   必ず操作しているパソコンのローカルハードディスク（例　デスクトップ上）にアップデートするプログラムを保存して実行してください。

原因③　ネットワークドライブの割当てが解除されている

新たにネットワークドライブを割り当てる

マイネットワークやネットワークドライブなどから TeraStation にアクセスしていた場合、TeraStation の IP アドレスなどのネットワーク設定を変更するとアクセスできなくなる場合があります。
その場合は、新たにネットワークドライブへ割り当ててアクセス可能かどうか確認します。

※ネットワークドライブに割り当てていた場合は、以下の手順で割り当てを解除してください。

1. 割り当てを解除するネットワークドライブを「右クリック」します。

2. 「切断」をクリックします。

原因④　共有フォルダが存在していない

共有フォルダを新規に作成する

RAID の構成変更を行うと、出荷時作成されている share フォルダを含めて、全ての共有フォルダが削除されます。

Web 設定画面の[共有フォルダ管理]画面から共有フォルダを確認して、存在しない場合は以下の手順で新規に share や、ご希望の名称にて共有フォルダを作成してください。

1. Web 設定画面から［共有フォルダ管理］を選択します。

2. 『共有フォルダの追加』ボタンを押します。

3. 共有フォルダ名など、必要な事項を入力、設定して『設定』ボタンを押します。
共有フォルダが作成されます。

【現象】IP アドレスを変更したらアクセスできなくなった

原因　ネットワークドライブの設定変更が行われていない

TeraStation の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当てる（Windows）

TeraStation の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当てる必要があります。割り当てには次の方法があります。

・「マイ ネットワーク」から割り当てる
・TeraStation の名称から割り当てる
・IP アドレスを使用して割り当てる

■注意
・ネットワークドライブとして指定するのは、TeraStation の名前（例：「ts-htglxxx」）ではありません。 その直下に作成された共有フォルダを指定します。
・TeraStation、および共有フォルダの下層フォルダに対し、共有フォルダとして割り当てることはできません。

「マイ ネットワーク」から割り当てる

TeraStation の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当てます。割り当てる方法は使用している OS によって異なります。

Windows Vista の場合

1. ［スタート］－［マイネットワーク］をクリックします。

2. TeraStation のアイコンをダブルクリックします。

3. TeraStation の共有フォルダのアイコンを右クリックします。
   ※　共有フォルダとは、「share」フォルダ等、Web 設定画面で作成したフォルダです。

4. ［ネットワークドライブの割り当て］をクリックします。

5. ［ドライブ名］を選択します。
   ※　ご利用のドライブ名(E:等)と競合しないようにずらして設定します。

6. ［ログオン時に再接続する］のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

7. ［完了］をクリックします。

8. ［コンピュータ］の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

Windows XP の場合

1. ［スタート］-［マイ コンピュータ］をクリックします。
2. ［マイネットワーク］をクリックします。
3. TeraStation のアイコンをダブルクリックします。
4. TeraStation の共有フォルダのアイコンを「右クリック」します。
   ※ 共有フォルダとは、「share」フォルダ等の TeraStation の Web 設定画面で作成したフォルダになります。
5. ［ネットワークドライブの割り当て］アイコンをクリックします。
6. ［ドライブ名］を選択します。
   ※ ご利用のドライブ名(E:等)と競合しないようにずらして設定します。
7. ［ログオン時に再接続する］のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。
8. ［完了］をクリックします。
9. ［マイコンピュータ］の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

Windows 2000、Windows Me、Windows 98SE、Windows 98、Windows 95、Windows NT4.0 の場合

1. ［ネットワークコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
   ※ Windows 2000 では［マイネットワーク］と表示されます。
2. ［ネットワーク全体］アイコンをクリックします。
3. ＜Windows 2000 をお使いの場合＞
   ［ネットワークの全内容を表示することもできます］アイコンをクリックします。
   ［MicosoftWindowsNetwork］アイコンをダブルクリックします。
4. TeraStation があるワークグループのアイコンをダブルクリックします。
5. TeraStation のアイコンをダブルクリックします。
6. TeraStation の共有フォルダのアイコンを「右クリック」します。
   ※ 共有フォルダとは、「Share」フォルダ等、Web 設定画面で作成したフォルダにです。
7. ［ネットワークドライブの割り当て］アイコンをクリックします。
8. ［ドライブ名］を選択します。
   ご利用のドライブ名(E:等)と競合しないようにずらして設定します。
9. ［ログオン時に再接続する］のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

10. [OK]をクリックします。（Windows 2000 をお使いの方は、[完了]をクリックします。）

11. ［マイコンピュータ］の中に、LinkStation、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

TeraStation の名称から割り当てる

TeraStation 名を使用して TeraStation の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当てます。

IP アドレスを使用して割り当てる

TeraStation の IP アドレスを確認後、TeraStation の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当てます。

1. ［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［BUFFALO NAS Navigator］－［BUFFALO NAS Navigator］を選択します。

2. BUFFALO NAS Navigator が起動し、検索された TeraStation の IP アドレスを確認します。

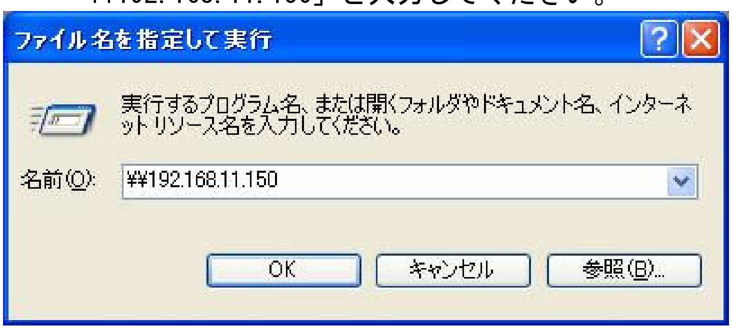


3. 確認したら右上の×ボタンをクリックし、BUFFALO NAS Navigator を終了します。

4. [スタート]から[ファイル名を指定して実行]をクリックします。

5. [名前]の欄に「2」で確認した TeraStation の IP アドレスを以下のように入力します。
¥¥（TeraStation の IP アドレス）

＜例＞
TeraStation の IP アドレスが「192.168.11.150」である場合は、「名前」欄に「¥¥192.168.11.150」と入力してください。



6. [OK]をクリックします。

7. TeraStationの共有フォルダのアイコンを「右クリック」します。
   ※ TeraStationの初期設定時は、「Share」フォルダです。

8. ［ネットワークドライブの割り当て］をクリックします。

9. ［ドライブ名］を選択します。
   （ご利用のドライブ名（E:等）と競合しないようにずらして設定します。）

10. ［ログオン時に再接続する］のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

11. [OK]をクリックします。
   （Windows Vista/2000をお使いの場合は、[完了]をクリックします。）

12. ［マイコンピュータ］の中に、TeraStationのネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

【現象】share フォルダにアクセスできなくなった

原因　share フォルダが削除されている

Web 設定画面にて、共有フォルダ share を確認し、共有フォルダが存在しない場合、新規に share や、ご希望の名称にて共有フォルダを作成ください。
※RAID の構成を変更されますと、共有フォルダは出荷時の share も含めすべて削除されます。
RAID の構成変更後は新規に share や、ご希望の名称にて共有フォルダを作成ください。

【現象】ネットワーク機器（ルータ、HUB など）を変更してから TeraStation にアクセスできなくなった

原因　LAN ケーブルが通信速度に対応していない

通信される機器が全て、ギガビット対応のネットワーク危機（ルータ、HUB など）に変更された場合、LAN ケーブルは全てカテゴリー5e 対応のケーブルに変更いただき接続を確認ください。

【現象】ユーザー名、パスワードのメッセージが表示され、TeraStation への接続ができない

原因① 該当共有フォルダにアクセス制限が設定されている
原因② アクセス制限の設定されていないユーザ名で共有フォルダにアクセスしようとしている

仕様・制限事項

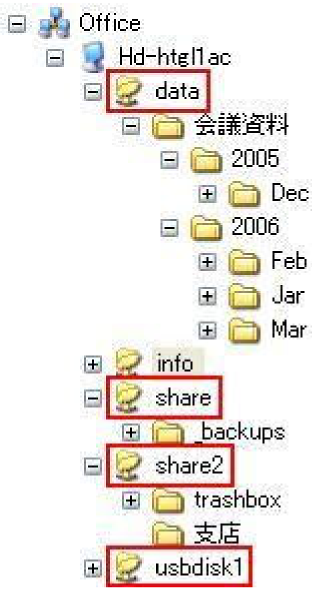
基本仕様

1. 共有フォルダ（図 data、share、share2）、USB ハードディスク（図 usbdisk1）に
   共有フォルダ属性を設定する

※共有フォルダ属性は「読取専用」「書込可能」を選択可能です。
※USB ハードディスクが FAT16/32 のフォーマット形式（製品出荷時）の場合、上記設定にかかわらず、バックアップ実行時のみ書込可能です。
※共有フォルダに含まれるサブフォルダの属性は、共有フォルダの設定に依存します。

2. 共有フォルダ（図 data、share、share2）、USB ハードディスク（図 usbdisk1）に
   ユーザ、グループ単位でアクセス制限を設定する

※TeraStation のアクセス制限の仕組みは、あらかじめ登録されたユーザ、グループ単位に対して「書込可能」「読取専用」の権限を付与します。その為、どちらの権限も持たないその他のユーザは「アクセス不可」状態になります。
※共有フォルダに含まれるサブフォルダのアクセス制限は、共有フォルダの設定に依存します。サブフォルダにアクセス制限は設定できません。
※ドメイン環境でご使用の場合はドメインユーザに対して、「書込可能」「アクセス不可」のみの設定が可能です。(TS-TGL/R5 のみ)



図中赤枠のフォルダに対してアクセス制限を設定可能です。

制限事項

・TeraStation に登録するユーザ名、パスワードは、パソコン起動時のユーザ名、パスワードと同一である必要があります。
※パソコン起動時のユーザ名が漢字であるユーザ、パスワードが無いユーザは、TeraStation に登録できないため、アクセス制限設定ができません。
・Macintosh からの接続時、FTP 接続時は、グループアクセス制限設定ができません。
・Microsoft ネットワークドメインでログオンしたとき、ドメインに登録されたユーザ名、グループ名を Macintosh ユーザのアクセス制限に使用することはできません。
・アクセス制限が設定可能なユーザ・グループは次のとおりです。

HS-DHTGL/R5 シリーズ

	ワークグループ設定	
	ローカルユーザ	ローカルグループ
ワークグループ環境	○	○

○：登録・使用可能

TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5 シリーズ

		ワークグループ環境			ドメイン環境	
		ローカルユーザ	外部認証ユーザ	ローカルグループ	ドメインユーザ	ドメイングループ
ワークグループ設定	外部認証しない	○	－	○	－	－
	外部認証する	×	○	○	－	－
ドメイン設定		×	－	×	○	○

○：登録・使用可能、×：動作保証外、-：登録不可

TS-TGL/R5 シリーズ

		ワークグループ環境			ドメイン環境	
		ローカルユーザ	外部認証ユーザ	ローカルグループ	ドメインユーザ	ドメイングループ
ワークグループ設定	外部認証しない	○	－	○	－	－
	外部認証する	△*1	○	○	－	－
ドメイン設定		○	－	△*2	○	－

○：登録・使用可能、△：使用時制限有り、-：登録不可
*1　外部認証設定時、既存のローカルユーザは外部認証ユーザに置換されます。ローカルユーザを使用する場合は、外部認証の設定実施後、追加する必要があります。
*2　ローカルグループにはローカルユーザのみ追加できます。

・Windows XP の「ユーザの切り替え機能」を使用した場合、正常にアクセスできない場合があります。
・出荷時設定されている「guest」アカウントを Windows XP/2000 のログイン時に使用した場合、「guest」アカウントに設定したアクセス制限が正常に動作しない場合があります。
・ドメインユーザによるアクセス制限は、「書込可能」「アクセス不可」のみ設定が可能になり、「読取専用」に設定することはできません。

※「共有フォルダ属性」「アクセス制限」の優先順位

共有フォルダに共有フォルダ属性を設定し、さらに各ユーザ/グループ毎にアクセス制限を設定した場合、共有フォルダに設定した共有フォルダ属性が優先されます。

「1.共有フォルダの共有フォルダ属性」　＞　「2.ユーザ/グループ毎のアクセス制限」

※「書込可能」「読取専用」の優先順位

同一ユーザにおいて「ユーザ単位」と「グループ単位」のそれぞれのアクセス制限を使用し、「書込可能」「読取専用」の両設定がされた場合は、「読取専用」にて動作します。

<u>優先順位の例①</u>
userA が groupG に所属している場合、
userA：読取専用、groupG：書込可能　の場合、userA は　読取専用　になります。
userA：書込可能、groupG：読取専用　の場合、userA は　読取専用　になります。

<u>優先順位の例②</u>
userA が groupG、groupH に所属している場合、
groupG：書込可能、groupH：読取専用　の場合、userA は　読取専用　になります。
groupG：読取専用、groupH：書込可能　の場合、userA は　読取専用　になります。

【現象】TeraStation に接続できない LINK/ACT ランプが点灯していない

原因　LAN ケーブルが正しく取り付けられていない

次の点を確認してください。
- LAN ケーブルが正しく接続されているか確認する
- パソコンと製品のケーブル不良や接続が不安定でないか確認する

LAN ケーブルが正しく接続されているか確認する

LAN ケーブルが正しく接続されてるかどうかは、LinkStation・TeraStation のランプの状態で確認します。
LAN ケーブルを接続した状態で、ランプが以下の状態であれば正常です。

※正面の LINK/ACT ランプが点灯しない場合は、LAN ケーブル、LAN ケーブルの接続先（HUB のポートなど）、電源取得箇所を変更して確認します。
また、パソコンに取り付けた LAN アダプタ/ボード/カードのリンクランプが点灯しているかどうかも確認してください。
リンクランプが点灯しない場合は、LAN アダプタ/ボード/カードが正常に動作しているかご確認ください。

LinkStation

HD-LAN、HD-HLAN、HD-HLWG、 HD-HGLAN、HS-DGL シリーズの場合	
ランプ	状態
電源ランプ	点灯
LINK/ACT ランプ	点灯、または点滅*
DISK STATUS/FULL ランプ	４つとも点灯
DIAG ランプ	消灯

※HD-HLWG シリーズは無線接続時は消灯です。

LS-GL、HS-DHGL HS-DHGL/M シリーズの場合	
ランプ	状態
電源ランプ	点灯
LINK/ACT ランプ	点灯、または点滅
INFO ランプ	消灯
ERROR ランプ	消灯

LS-LGL、LS-LGL/M シリーズの場合	
ランプ	状態
電源ランプ	点灯
ステータスランプ	点灯、または点滅

LS-WTGL/R1 シリーズの場合	
ランプ	状態
電源ランプ	点灯
INFO/ERROR ランプ	消灯
LINK/ACT ランプ	点灯、または点滅

TeraStation

HD-HTGL/R5 シリーズ HS-DTGL/R5 シリーズの場合	
ランプ	状態
電源ランプ	点灯
LINK/ACT ランプ	点灯、または点滅*
DIAG ランプ	消灯
DISK STATUS/FULL ランプ	４つとも点灯
DISK ACCESS	４つとも消灯 （アクセス中は点滅）

HS-DHTGL/R5、TS-TGL/R5、 TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5 シリーズの場合	
ランプ	状態
電源ランプ	点灯
LINK/ACT ランプ	点灯、または点滅
FAIL ランプ	消灯
ERROR ランプ	消灯
MASSAGE ランプ	消灯
ACCESS ランプ	４つとも消灯 （アクセス中は点滅）

パソコンと製品のケーブル不良や接続が不安定でないか確認する

パソコンと TeraStation 間の LAN ケーブルが断線している、または、LAN ケーブルが接続されていない可能性があります。
次の点を確認または変更してください。
・接続するハブのポートを変更する
・ケーブルが断線していないかを確認する
・接続する LAN ケーブルを変更する

上記の全てを確認しても検索されないときは

上記を全て確認しても検索されないときは、製品の電源を OFF にし、再度 ON にして検索を行ってください。

ランプの状態の状態を確認する（TS-TGL/R5、TS-HTGL/R5、HS-DHTGL/R5、TS-RHTGL/R5 シリーズ）

正面のランプ表示は次のとおりです。

電源ランプ

ランプ表示	TeraStation の状態
緑色　　点灯	電源 ON 時
（消灯）	電源 OFF 時

LINK/ACT ランプ

ランプ表示	TeraStation の状態
緑色　　点灯	リンク時
（消灯）	LAN ケーブル未接続

MESSAGE ランプ

ランプ表示	TeraStation の状態
橙色　　点灯	メッセージ有り(※)
（消灯）	通常時

（※）メッセージ内容は TeraStation 前面の液晶ディスプレイをご参照ください。

ERROR ランプ

ランプ表示	TeraStation の状態
赤色　　点灯	エラー発生時(※)
（消灯）	通常時

（※）エラー内容は TeraStation 前面の液晶ディスプレイをご参照ください。

FAIL ランプ(1～4)

ランプ表示	TeraStation の状態
赤色　　点灯	ディスクエラー発生時
（消灯）	通常時

ACCESS ランプ(1～4)

ランプ表示	TeraStation の状態
赤色　　点灯	ディスクアクセス時
（消灯）	電源 OFF 時

【現象】Macintosh から TeraStation にアクセスできなくなった

原因　ファイルシステムに障害が発生している可能性がある

Macintosh から TeraStation に接続時、ファイル・アイコンが表示されない場合は、ファイルシステムに障害が発生している場合があります。
設定画面からの「ディスクチェック」で改善される場合があります。以下の内容にしたがってディスクチェックを実行してください。

■ディスクチェック時の注意

以下の対象製品をご利用の場合は、「ディスクチェック」時に「MacOS の固有情報を削除」のチェックを有効にしてください。

TS-TGL/R5、TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5

※MacOS の固有情報のみが削除され、データは削除されません。

ディスクチェックの手順（TeraStation 全般）

TeraStation のディスクチェックする方法は、製品によって異なります。
該当の製品の手順をお読みください。

※注意
・Macintosh から TeraStation にアクセスできなくなった場合に実施してください。ランプ（5 ページ参照）、液晶ディスプレイ(6～10 ページ参照)にエラーが表示されている場合は該当ページの対応を実施してください。
・あらかじめディスクチェックの前に、バックアップを行ってください。
・ディスクチェック中、TeraStation には一切アクセスできません。
・この操作にはハードディスクの状態に依存しますが、数十秒～数十時間必要です。
・ディスクにエラーが発見された場合、自動的に修復します。
・ディスクチェック完了後、自動的に再起動します。

TeraStation（TS-TGL/R5、TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5 シリーズ）

1. TeraStation の WEB 設定画面を表示します。
2. ［ディスク管理］－［ディスクチェック］をクリックします。
3. 「チェック対象ディスク」でディスクチェックを行うハードディスク（アレイ）を選択します。
4. ［チェック対象ディスクを選択］をクリックします。
5. 設定に間違いがないことを確認し、「チェックを開始」をクリックします。

【現象】設定画面で設定中にバックアップ先が選択できない

原因①　共有フォルダ、USB ハードディスクの「公開先」が正しく設定されて　いない

・共有フォルダ、USB ハードディスクの「公開先」が正しく設定されていないことが考えられます。

バックアップ元の TeraStation に接続されている USB ハードディスク、また、バックアップ先の TeraStation の共有フォルダの「公開先」の設定が、「バックアップ」にチェックが入っているかどうかご確認ください。

1. バックアップ先のフォルダが存在する TeraStation の WEB 設定画面を表示します。

2. ［共有フォルダ管理］にて、バックアップ先の［共有フォルダ名］をクリックします。

3. ［公開先］に［バックアップ］にチェックを入れます。

4. ［設定］ボタンをクリックします。

原因②　バックアップの組み合わせが対応していない

注意）　この記載内容は、各TeraStation・LinkStationのファームウェアが最新版であることを前提にしています。
最新版でない場合は、アップデートを行ってください。

TeraStation のネットワーク経由でのバックアップ機能では、大きく 2 つのグループに分かれています。グループが異なる LinkStation、TeraStation 間では、バックアップを行うことができません。グループ分けは以下の記述を参照ください。
※ドラッグアンドドロップなど、手動操作でのバックアップは可能です。

グループ A

TeraStation：HS-DHTGL/R5、TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5、TS-TGL/R5、HD-HTGL/R5 シリーズ
LinkStation：LS-GL、LS-HGL、LS-WSGL/R1、LS-WTGL/R1、HS-DHGL(/M)、HS-DGL、HD-HGLAN シリーズ

グループ B

TeraStation：HS-DTGL/R5 シリーズ

上記の LinkStation、TeraStation 間でのバックアップについては、HS-DTGL/R5 シリーズのファームウェアバージョンアップにて対応予定です。ご迷惑をお掛けして申し訳ございませんが、しばらくお待ち頂きますようお願いします。

原因③　共有フォルダの「バックアップ公開用パスワード」が一致していない

TeraStation 全般、LS-GL、LS-HGL、LS-WSGL/R1、LS-WTGL/R1、HS-DHGL(/M)シリーズのみに該当します。

・バックアップ公開用パスワードが一致していない共有フォルダは、バックアップ先の一覧に表示されません。
・バックアップ先の共有フォルダに設定された「バックアップ公開用パスワード」とバックアップ元 TeraStation で入力した「バックアップ先検索用パスワード」が、一致しているかどうかご確認ください。

「バックアップ公開用パスワード」の仕様・設定方法

注意）　この記載内容は､各TeraStation･LinkStationのファームウェアが最新版であることを前提にしています。最新版でない場合は、アップデートを行ってください。

バックアップ公開用パスワードとは

TeraStation から、TeraStation・LinkStation へバックアップする際、バックアップ先 TeraStation・LinkStation のバックアップ対象共有フォルダをバックアップ元 TeraStation ごとで制限するためのパスワードです。
※バックアップ先機器に設定します。

バックアップ先検索用パスワードとは

TeraStation から、TeraStation・LinkStation へバックアップする際バックアップ公開用パスワードが設定された TeraStation･LinkStation の共有フォルダにバックアップする場合にバックアップ元 TeraStation に設定するパスワードです。

関連機器

バックアップ公開用パスワード設定可能機器

・LinkStation（HS-DHGL（/M)、LS-GL、LS-HGL、LS-WSGL/R1、LS-WTGL/R1 シリーズ）
・TeraStation（TS-TGL/R5、TS-HTGL/R5、HS-DHTGL/R5、HS-DTGL/R5、HS-DTGL/R5、HD-HTGL/R5 シリーズ）

バックアップ先検索用パスワード設定可能機器

・LinkStation（HS-DHGL（/M)、LS-GL、LS-HGL、LS-WSGL/R1、LS-WTGL/R1 シリーズ）
・TeraStation（TS-TGL/R5、TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5、HS-DHTGL/R5、HS-DTGL/R5、HD-HTGL/R5 シリーズ）

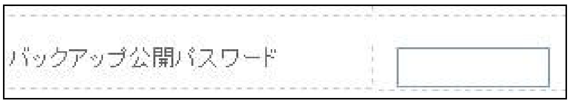
仕様

・「バックアップ公開用パスワード」には半角英数字とハイフン(-)、アンダーバー(_)を 8 文字まで設定が可能です。
・バックアップ元 TeraStation に設定することができる「バックアップ先検索用パスワード」は 1 つのみです。
（「バックアップ公開用パスワード」が異なる共有フォルダを同時にバックアップ設定することはできません。）
・「バックアップ公開用パスワード」は、バックアップ元以外の別の TeraStation にのみ有効です。

（例　TeraStationA に shareA12、shareD23 という共有フォルダがあり、それぞれ公開用パスワードが AAA、DDD と設定されている。
TeraStationB に shareABC、shareDEF という共有フォルダがあり、それぞれ公開用パスワードが AAA、DDD と設定されている。
TeraStationA のバックアップ検索用パスワードに AAA と入力した場合は、バックアップ先として、TeraStationA の shareA12、shareD23、TeraStationB の shareABC が選択可能になる。）

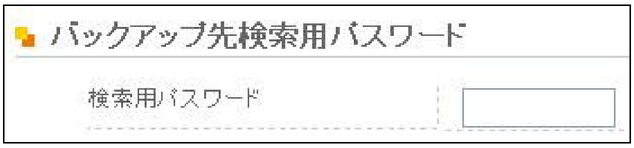
設定手順

1. バックアップ先の TeraStation・LinkStation の設定画面で、共有フォルダのそれぞれに「バックアップ公開用パスワード」を設定します。



2. バックアップ元 TeraStation のバックアップ設定時、バックアップ先として表示させたい共有フォルダに設定した「バックアップ公開用パスワード」と同一のパスワードを「バックアップ先検索用パスワード」に設定します。

   TeraStation、HS-DHGL（/M）、LS-GL、LS-HGL、LS-WSGL/R1、LS-WTGL/R1 シリーズ設定画面



   HD-HGLAN、HS-DGL シリーズ設定画面



3. バックアップ元 TeraStation にて、バックアップ設定を行います。
   バックアップ先共有フォルダは以下より選択することができます。※
   - バックアップ元 TeraStation 内の共有フォルダ
   - バックアップ元 TeraStation に接続されている USB ハードディスク
   - バックアップ先 TeraStation、LinkStation 内の「バックアップ公開用パスワード」が設定されていない共有フォルダ
   - バックアップ先 TeraStation、LinkStation 内の「バックアップ公開用パスワード」が「バックアップ先検索用パスワード」と一致している共有フォルダ

※共有フォルダ設定時に公開先として「バックアップ」が有効になっている必要があります。

設定例

バックアップ先 TeraStation、LinkStation の設定

共有フォルダ名	share1	share2	share_free
バックアップ公開用パスワード	111	222	なし

バックアップ元 TeraStation の設定	↓	↓	↓
バックアップ元の「バックアップ先検索用パスワード」に「111」と設定した場合に表示されるバックアップ先共有フォルダ	表示	非表示	表示
バックアップ元の「バックアップ先検索用パスワード」に「222」と設定した場合に表示されるバックアップ先共有フォルダ	非表示	表示	表示
パスワードを入れない場合に表示されるバックアップ先共有フォルダ	非表示	非表示	表示

原因④　バックアップ先とバックアップ元が異なるネットワークに設定されて
いる

1. WEB 設定画面から［ネットワーク設定］－［IP アドレス設定］よりデフォルトゲートウェイ、DNS サーバアドレスを設定します。

2. バックアップ元の WEB 設定画面から［バックアップ］－［検索対象アドレス］からバックアップ先の IP アドレスを追加します。

原因⑤　バックアップ対象 TeraStation 一覧にて認識できていない

TeraStation の起動のタイミングにより、他の TeraStation を認識できない場合があります。
原因①、原因②を確認の上、バックアップ元、バックアップ先の TeraStation、LinkStation を再起動を実施してください。

【現象】設定画面で設定ボタンを押すと「バックアップ対象フォルダを選択してください」と表示される

原因①　バックアップ対象フォルダが正しく設定されていない

注意）　この記載内容は､各TeraStation･LinkStationのファームウェアが最新版であることを前提にしています。
最新版でない場合はアップデートを行ってください。

TeraStation では、下記のようなバックアップを行うことが可能です。

・「TeraStation」から「USB ハードディスク」へバックアップ
・「TeraStation」から「LinkStation、TeraStation」へバックアップ

「TeraStation」から「USB ハードディスク」へバックアップ

TeraStation の共有フォルダ内のデータを、TeraStation 自身に USB 接続した USB ハードディスクにバックアップできます。

設定手順

あらかじめ、USB ハードディスクを TeraStation に接続した状態で以下の設定を行ってください。

1. TeraStation の WEB 設定画面を表示します。

2. ［バックアップ］をクリックします。

3. 「バックアップ設定」内、設定するタスク（例　タスク 1　等）をクリックします。



4. バックアップ元フォルダ、バックアップ先フォルダをそれぞれ選択し、「バックアップ対象の追加」をクリックします。



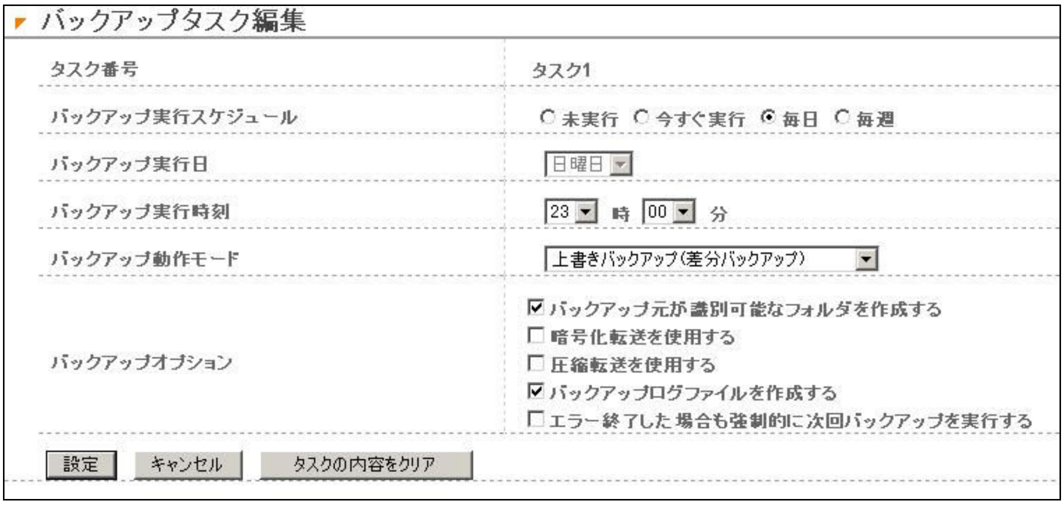
※ 図中、「TS-TGL95C」はバックアップ元 TeraStation の名称になり、接続されている USB ハードディスクは「TS-TGL95C@usbdisk1」と表示されます。

5. 「バックアップ実行スケジュール」を選択します。
「毎週」を選んだ場合のみ「バックアップ実行日」を選択します。
「毎日」「毎週」を選んだ場合のみ、「バックアップ実行時刻」を選択します。

6.　「暗号化転送」「圧縮転送」を選択します。

7.　バックアップモードを「上書きバックアップ」「差分」等を選択します。

8.　「設定」をクリックします。



バックアップ動作モードについて

注意）　この記載内容は、各TeraStation･LinkStationのファームウェアが最新版であることを前提にしています。
最新版でない場合はアップデートを行ってください。

TeraStation のバックアップ機能では、「上書きバックアップする・しない」「完全、増分・差分アックアップ」の設定によってバックアップされるファイル、バックアップにかかる時間、バックアップ先の状態が異なります。

バックアップ設定とその場合の動作については下記をご確認ください。

■バックアップ動作モード

・通常バックアップ
・上書き完全増分バックアップ
・上書き完全差分バックアップ
・上書き増分バックアップ
・上書き差分バックアップ

■通常バックアップ

特徴

〇メリット
・複数回のバックアップを保存することができる。

▲デメリット
・バックアップの度にフォルダを作成するため、バックアップ先の容量を圧迫しやすい。

バックアップ動作

操作	バックアップ元	バックアップ先
Step1. パソコン上の操作 「A.txt」「B.txt」「C.txt」を バックアップ元に新規作成した	A.txt　B.txt　C.txt	
Step2. バックアップ機能の動作 バックアップ先に 「A.txt」「B.txt」「C.txt」が コピーされる	A.txt　B.txt　C.txt	コピー A.txt　コピー B.txt　コピー C.txt
Step3. パソコン上の操作 「B.txt」を更新し、「C.txt」を削除し、「D.txt」を新規作成した	A.txt　更新 B.txt　削除 C.txt　新規 D.txt	
Step4. バックアップ機能の動作 バックアップ先に 「A.txt」「B.txt」「D.txt」が コピーされる	A.txt　B.txt　D.txt	コピー A.txt　コピー B.txt　コピー D.txt

■上書き完全増分

特徴

〇メリット
・以前にバックアップした全てのファイルが、バックアップ先に保存されたままになる。

▲デメリット
・バックアップ元とバックアップ先のファイル構成が同一でない。
・全てのファイルをバックアップするため、バックアップ時間が長くなる。
・バックアップ元よりもバックアップ先の方が容量が多くなるため、　バックアップに失敗する可能性がある。

バックアップ動作

操作	バックアップ元	バックアップ先
Step1.パソコン上の操作 「A.txt」「B.txt」「C.txt」を バックアップ元に新規作成した	A.txt　B.txt　C.txt	
Step2.バックアップ機能の動作 バックアップ先に 「A.txt」「B.txt」「C.txt」がコピーされる	A.txt　B.txt　C.txt	コピー A.txt　コピー B.txt　コピー C.txt
Step3.パソコン上の操作 「B.txt」を更新し、「C.txt」を削除し、「D.txt」を新規作成した	A.txt　更新 B.txt　削除 C.txt　新規 D.txt	A.txt　B.txt　C.txt
Step4.バックアップ機能の動作 バックアップ先に 「A.txt」「B.txt」「D.txt」がコピーされる	A.txt　B.txt　D.txt	コピー A.txt　コピー B.txt　C.txt　コピー D.txt

■上書き完全差分

特徴

〇メリット
・バックアップ元とバックアップ先が同一のフォルダ・ファイル構成になる。
・バックアップ元で削除したファイルがバックアップ先でも自動削除される為、バックアップ先の容量を節約できる。

▲デメリット
・バックアップ元で削除したファイルがバックアップ先でも自動消去される為、バックアップ先にのみ存在するファイルが削除される。
・全てのファイルをバックアップするため、バックアップ時間が長くなる。

バックアップ動作

操作	バックアップ元	バックアップ先
Step1.パソコン上の操作 「A.txt」「B.txt」「C.txt」をバックアップ元に新規作成した	A.txt　B.txt　C.txt	
Step2.バックアップ機能の動作 バックアップ先に 「A.txt」「B.txt」「C.txt」がコピーされる	A.txt　B.txt　C.txt	コピー A.txt　コピー B.txt　コピー C.txt
Step3.パソコン上の操作 「B.txt」を更新し、「C.txt」を削除し、「D.txt」を新規作成した	A.txt　更新 B.txt　削除 C.txt　新規 D.txt	A.txt　B.txt　C.txt
Step4.バックアップ機能の動作 バックアップ先に「A.txt」「B.txt」「D.txt」がコピーされ、「C.txt」は消失する	A.txt　B.txt　D.txt	コピー A.txt　コピー B.txt　消失 C.txt　コピー D.txt

■上書き増分

特徴

〇メリット
・以前にバックアップして消してしまったファイルが、バックアップ先に存在できる。
・更新したファイルのみバックアップする為、バックアップ時間が短縮できる。

▲デメリット
・バックアップ元とバックアップ先が同一でない。

バックアップ動作

操作	バックアップ元	バックアップ先
Step1.パソコン上の操作 「A.txt」「B.txt」「C.txt」を バックアップ元に新規作成した	A.txt B.txt C.txt	
Step2.バックアップ機能の動作 バックアップ先に 「A.txt」「B.txt」「C.txt」が コピーされる	A.txt B.txt C.txt	コピー A.txt コピー B.txt コピー C.txt
Step3.パソコン上の操作 「B.txt」を更新し、「C.txt」を 削除し、「D.txt」を新規作成した	A.txt 更新 B.txt 削除 C.txt 新規 D.txt	A.txt B.txt C.txt
Step4.バックアップ機能の動作 バックアップ先に「B.txt」 「D.txt」がコピーされる	A.txt B.txt D.txt	A.txt コピー B.txt C.txt コピー D.txt

■上書き差分

特徴

〇メリット
・バックアップ先とバックアップ元が同一のフォルダ・ファイル構成になる。
・更新したファイルのみバックアップする為、バックアップ時間が短縮できる。
・バックアップ元で削除したファイルがバックアップ先でも削除される為、バックアップ先の容量を節約できる。

▲デメリット
・バックアップ元で削除したファイルがバックアップ先でも自動消去される為、バックアップ先にのみ存在するファイルが削除される。

バックアップ動作

操作	バックアップ元	バックアップ先
Step1.パソコン上の操作 「A.txt」「B.txt」「C.txt」をバックアップ元に新規作成した	A.txt B.txt C.txt	
Step2.バックアップ機能の動作 バックアップ先に 「A.txt」「B.txt」「C.txt」がコピーされる	A.txt B.txt C.txt	コピー A.txt コピー B.txt コピー C.txt
Step3.パソコン上の操作 「B.txt」を更新し、「C.txt」を削除し、「D.txt」を新規作成した	A.txt 更新 B.txt 削除 C.txt 新規 D.txt	A.txt B.txt C.txt
Step4.バックアップ機能の動作 バックアップ先に「B.txt」「D.txt」がコピーされ、「C.txt」は消失する	A.txt B.txt D.txt	A.txt コピー B.txt 消失 C.txt コピー D.txt

「TeraStation」から「LinkStation、TeraStation」へバックアップ

TeraStationの共有フォルダ内のデータを、別のLinkStation、TeraStationに対してバックアップできます。

設定手順

1. TeraStationのWEB設定画面を表示します。

2. ［バックアップ］をクリックします。

3. 「バックアップ設定」内、設定するタスク（例　タスク1　等）をクリックします。

タスク番号	スケジュール	状態
タスク1		登録されていません

4. バックアップ元フォルダ、バックアップ先フォルダをそれぞれ選択し、「バックアップ対象の追加」をクリックします。



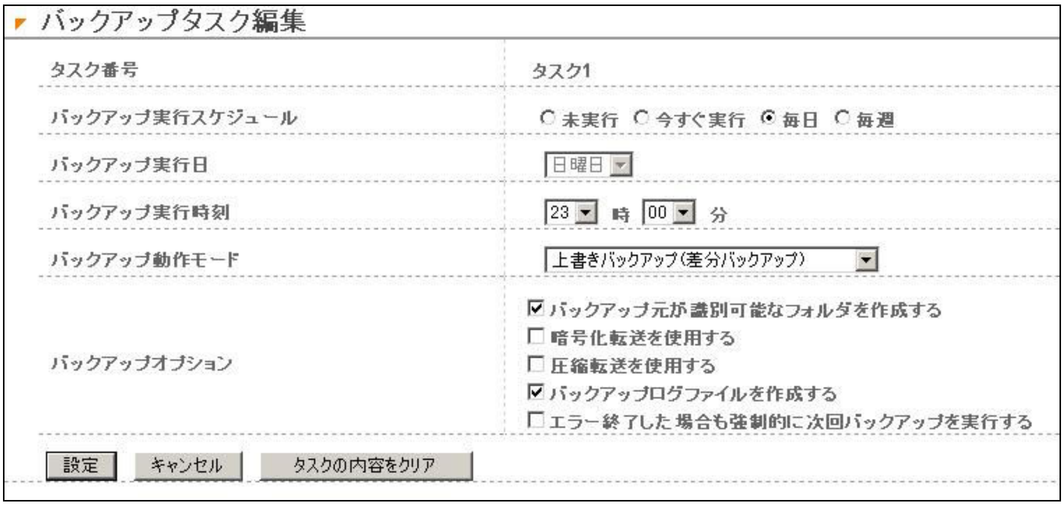
※ 図中、「TS-TGL95C」はバックアップ先TeraStationの名称になり、TS-TGL95C内のshareフォルダは「TS-TGL95C@share」と表示されます。

5. 「バックアップ実行スケジュール」を選択します。
「毎週」を選んだ場合のみ「バックアップ実行日」を選択します。
「毎日」「毎週」を選んだ場合のみ、「バックアップ実行時刻」を選択します。

6. 「暗号化転送」「圧縮転送」を選択します。

7. バックアップモードを「上書きバックアップ」「差分」等を選択します。

8. 「設定」をクリックします。


バックアップタスク編集
タスク番号
タスク1
バックアップ実行スケジュール
未実行
今すぐ実行
毎日
毎週
バックアップ実行日
日曜日
バックアップ実行時刻
23
時
00
分
バックアップ動作モード
上書きバックアップ(差分バックアップ)
バックアップオプション
バックアップ元が識別可能なフォルダを作成する
暗号化転送を使用する
圧縮転送を使用する
バックアップログファイルを作成する
エラー終了した場合も強制的に次回バックアップを実行する
設定
キャンセル
タスクの内容をクリア

原因② USB ハードディスクが認識されていない

TeraStation に USB ハードディスクを取り付けた際、以下の症状が発生する場合は、TeraStation と USB ハードディスクの電源を入れる順番が異なっている可能性があります。

■症状
・TeraStation の設定画面上でディスク情報に表示されない。
・TeraStation の設定画面上で「フォーマット対象ディスク」に「usbdisk*」が表示されない。
・USB ハードディスクが赤点灯状態になる。

TeraStation と USB ハードディスクの電源を入れなおす

TeraStation は、ホットプラグに対応していないため、TeraStation の電源が OFF の状態の時に、USB ハードディスクを取り付ける必要があります。

USB ハードディスクの AUTO 電源機能を「AUTO」で使用する場合

一度 TeraStation の電源を切り、TeraStation と USB ハードディスクを接続した状態で、改めて TeraStation の電源を入れてください。

USB ハードディスクの AUTO 電源機能を「MANUAL」で使用する場合

一度 TeraStation の電源を切り、TeraStation と USB ハードディスクを接続した状態で、USB ハードディスク、TeraStation の順に電源を入れてください。

DUB2-B、HD-U2、HD-HBU2、HD-HU2 シリーズ、HD-S40U2 をご使用の方へ

USB 接続ハードディスク DUB2-B シリーズ、HD-U2 シリーズ、HD-HU2 シリーズ、HD-HBU2 シリーズおよび HD-S40U2 を、TeraStation に取りつける場合には、AUTO 電源機能を無効（MANUAL 設定）にして接続を行ってください。

本現象は制限事項になります。以下の設定で回避してください。

① USB ハードディスクの自動電源連動機能を、MANUAL 設定とする。

② USB ハードディスクの電源を投入後、TeraStation の電源を投入する。

【現象】バックアップでエラーが発生したと表示される

原因①　バックアッププログの場所、読み方がわからない

「バックアッププログが生成されない」→51 ページを参照してください。
「バックアッププログの読み方がわからない」→57 ページを参照してください。

原因②　ファイル名・フォルダ名に使用禁止の文字を使っている

共有フォルダ名、ワークグループ名、フォルダ名およびファイル名に次の文字を使用すると、TeraStation のデータにアクセスできない、ファイル操作が正常行えないことがあります。

これは製品制限事項です。

＜2006/8/22 現在＞

∪∩¬∠⊥≡≒√∵∫
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅰⅱⅲⅳⅴⅵⅶⅷⅸⅹ
㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼㍻㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻￤＇
＂〝〟∮∑∟⊿纊褜鍈銈蓜俉炻昱棈鋹曻彅丨仡仼伀伃伹佖侒侊侚侔俍偀倢俿倞偆偰偂傔僴
僘兊冝冾凬刕劜劦勀勛匀匇匤卲厓厲叝﨎咜咊咩哿喆坙坥垬埈埇﨏塚增墲夋奓奛奝奣妤妺
孖寀甯寘寬尞岦岺峵崧嵓﨑嵂嵭嶸嶹巐弡弴彧德忞恝悅悊惞惕愠惲愑愷愰憘戓抦揵摠撝擎敎
昀昕昻昉昮昞昤晥晗晙晴晳暙暠暲暿曺朎朗杦枻桒柀栁桄棏﨓楨﨔榘槢樰橫橆橳橾櫢櫤毖氿
汜沆汯泚洄涇浯涖涬淏淸淲淼渹湜渧渼溿澈澵濵瀅瀇瀨炅炫焏焄煜煆煇凞燁燾犱犾猤猪獷玽
珉珖珣珒琇珵琦琪琩琮瑢璉璟甁畯皂皜皞皛皦益睆劯砡硎硤硺礰礼神禔福禛竑竧靖竫箞精絈
絜綷綠緖繒罇羡羽茁荢荿菇菶葈蒴蕓蕙蕫﨟薰蘒﨡蠇裵訒訷詹誧誾諟諸諶譓譿賰賴贒赶﨣
軏﨤逸遧郞都鄕鄧釚釗釞釭釮釤釥鈆鈐鈊鈺鉀鈼鉎鉙鉑鈹鉧銧鉷鉸鋧鋗鋙鋐﨧鋕鋠鋓錥錡鋻
﨨錞鋿錝錂鍰鍗鎤鏆鏞鏸鐱鑅鑈閒隆﨩隝隯霳霻靃靍靏靑靕顗顥飯飼餧館馞驎髙髜魵魲鮏鮱
鮻鰀鵰鵫鶴鸙黑畩秕緇臂蘊訃躱鐓饐鷯

原因③　Macintosh 接続時の特殊なファイルをバックアップしている

Macintosh から TeraStation にアクセスした場合、共有フォルダ内に不可視の状態で以下のフォルダが生成されます。これらのファイルをバックアップ対象から外して運用してください。

「.AppleDesktop」
「Network Trash Folder」
「TheVolumeSettingsFolder」
「.AppleDouble」

上記フォルダは、Macintosh のファイル共有プロトコル（AppleShare）によって自動生成されるものであり、通常使用する場合には問題ありません。

上記フォルダを削除しても、再度 Macintosh から共有フォルダへアクセスを行うことで自動的に生成されます。

原因④　バックアップ動作時、バックアップ元にアクセスしている

TeraStation のバックアップ機能動作中、バックアップ元ファイルへのパソコンからアクセスによってバックアップが失敗する場合があります。（アクセス時に作成される共有フォルダ内の不可視ファイルが、バックアップ動作に対して影響を与える可能性があるため。）

※バックアップエラーが発生した場合は、アクセスしていたパソコンを再起動し、再度バックアップを行ってください。
※重要なデータのバックアップを行ってから削除を行ってください。

原因⑤　ファームウェアのバージョンが古い

最新版ファームウェアにアップデートすることで改善される場合があります。ファームウェアのバージョンアップをおためしください。

TeraStation のファームウェアのアップデート

アップデート作業は、必ずデータをバックアップした後、以下の点を注意して行ってください。

1. アプリケーションを全て終了させる（常駐型ソフトを含む）
   - アップデートを行うパソコンで、常駐しているソフト（セキュリティソフト等）がある場合や　ファイアウォール機能が有効である場合、TeraStation の検索やアップデートプログラムに影響を与えることがあります。
   - また、アプリケーションが動作中で、パソコンに負荷がかかっている状態では　正常にアップデートできない場合があります。ソフトウェアのマニュアルなどを参考にして、一時的に無効・終了してからアップデートを行ってください。

2. 有線接続に変更する（無線接続の場合）
   無線接続時はデータの通信、転送が不安定になる場合があります。有線接続してからアップデートを行ってください。

3. パソコンと LAN ケーブルで直接接続する
   TeraStation が接続している HUB 等に発生するネットワークトラフィック等がパソコンから TeraStation のファームウェアデータ転送に影響を与えることがあります。可能な限り直接接続してアップデートを行ってください。

4. ファームウェアアップデートプログラムをパソコンから実行する
   ファームウェアアップデートプログラムをパソコンのローカルハードディスク以外に保存し、その場所から直接実行した場合、正常動作しない可能性があります。
   ※TeraStation 内部、フロッピーディスク等に保存されている場合

   必ず操作しているパソコンのローカルハードディスク（例　デスクトップ上）にアップデートするプログラムを保存して実行してください。

原因⑥　バックアップ先の共有フォルダの設定が正常に動作していない

バックアップ先の TeraStation の共有フォルダにて下記の設定をおためしください。

1. TeraStation の WEB 設定画面を表示させます。

2. ［共有フォルダ管理］を選択し、バックアップ先の共有フォルダを選択します。

3. ［公開先］の設定を、［バックアップ］のチェックを外して［設定］をクリックします。

4. 再度、バックアップ先の共有フォルダを選択します。

5.　［公開先］の設定を、［バックアップ］のチェックを入れて［設定］をクリックします。

原因⑦　JumboFrame（ジャンボフレーム）が正しく設定されていない

バックアップ元製品と、バックアップ先製品がそれぞれ JumboFrame 設定してあり、バックアップ時に経由する HUB の内、1 台でも設定した JumboFrame 値に対応していない場合バックアップに失敗します。

それぞれバックアップ元、バックアップ先の JumboFrame の設定を通常のフレームサイズに変更するか、バックアップの経路上の HUB を全て設定する JumboFrame 対応の HUB に交換してください。

原因⑧　フォーマット形式が対応していない

TeraStation に接続できる USB ハードディスクのフォーマット形式は、以下の 4 種類です。

・FAT32
・NTFS
・EXT3
・XFS

■使用用途に対応する USB ハードディスクのフォーマット形式

使用用途	USB ハードディスクのフォーマット形式			
	FAT32	NTFS	EXT3	XFS
TeraStation のバックアップ機能を使用し、TeraStation から USB ハードディスクへファイルのバックアップ	可※1	不可	可	可
TeraStation に接続している USB ハードディスク内のファイルアクセス	読取	読取 ※2	読取 書込	読取 書込
TeraStation に接続していた USB ハードディスクを パソコンに直接 USB 接続してファイルのアクセス	読取 書込 ※1	読取 書込 ※2	不可	不可
TeraStation に接続していた USB ハードディスクをLinkStationに接続してファイルアクセス	読取	不可	読取 書込	不可

※1.　FAT32（FAT16）フォーマットの制限上、ファイルサイズが 2G バイト以上のファイルを書き込むことができません。

MacOS X で自動生成されたファイル（.DS_Store など）がある場合には、ファイル名に FAT32/16 形式で使用できない文字が含まれているためバックアップできません。（エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります）

※2.　NTFS フォーマットの場合、Windows 2000/XP 以外の OS では使用できません。2 バイト文字（日本語など）は文字化けします。

■フォーマット形式選択時の参考例

通常は TeraStation のデータをバックアップするために使用し、万が一のハードトラブルの障害対策として USB ハードディスクを使用する場合は、『 FAT32 』が最適です。

TeraStation のデータをバックアップし、自由に読み書きができるハードディスク領域を増設する場合は、『 XFS 』が最適です。

原因⑨　１ファイルの容量が 2GB をこえている

TeraStation に接続して使用する USB ハードディスクは、フォーマット形式によって以下のような特徴の違いがあります。

※TeraStation のファームウェアは最新版をご使用ください。

フォーマット形式	利点	欠点
FAT32	Windows パソコンに USB 接続時、書込可能	・TeraStation に接続時は、読取専用（バックアップ時のみ書込可能） ・1 ファイル 2GB 以上のデータはコピー、バックアップ不可 ・「:」など MacOS X で使用する一部の文字が使用不可
EXT3	・TeraStation に接続時、書込可能 ・ジャーナリングファイルシステム対応	・Windows パソコンに USB 接続時、読取不可 ・使用できる容量が XFS に比べて少ない。 ・1 つのフォルダにファイルの数が多くなればなるほどアクセス速度低下 ・フォーマットに時間がかかります（数分～10 分）
XFS	・TeraStation に接続時、書込可能 ・ジャーナリングファイルシステム対応 ・使用できる容量が EXT3 に比べて多い。 ・1 つのフォルダ内のファイル数が多くても　アクセスが遅くならない。	・Windows パソコンに USB 接続時、読取不可
NTFS	特になし	・TeraStation、LinkStation（HS-DHGL、LS-GL シリーズ）に接続した場合は、読取専用（バックアップ時も書込不可）。但し、TeraStation、LinkStation の仕様により、ファイル名フォルダ名に使用されている日本語（2 バイト文字）は全て文字化けする。

注意）
・フォーマットするとハードディスク内のデータが全て消去されます。
・フォーマットするとハードディスクのパーティションも削除されます。

【現象】USB ハードディスクへのバックアップが失敗する

原因　USB ハードディスクが正しく認識されていない

TeraStation の USB ポートはホットプラグに対応しておりませんので USB ハードディスクの電源が入ったまま、
電源のついた TeraStation へ接続されますと、正常に認識しない場合がございます。
以下の手順にて症状が改善されないか確認を行ってください。

1. TeraStation、USB ハードディスクの電源を落とします。

2. USB ハードディスクを起動させ、USB ケーブルにて TeraStation と接続する。

3. TeraStation を起動させる。

※上記にて解消しない場合は以下の手順で USB ハードディスクの割当て解除を実施して、
再度 USB ハードディスクを接続し直してください。

1. WEB 設定画面から[ディスク管理] -[USB ディスク設定]を選択します。

2. [USB ディスク]をクリックして接続されている USB ディスクの管理画面を開きます。

3. [USB ディスクの割当て解除]ボタンを押して割当てを解除します。

※USB ディスクの割当て解除を実施しても、保存されているデータは削除されません。
TeraStation がもっている USB ハードディスクの接続情報のみ削除します。

【現象】バックアップが実行中のまま終了しない

原因①　バックアップに時間がかかっている

バックアップ先のLinkStationやTeraStationやUSBハードディスクのアクセスランプが点滅している場合やバックアップ中のバックアップログが途中で止まったままになっていない場合、バックアップに時間がかかっています。

バックアップ先の電源をOFFにするか、バックアップ元TeraStationの設定を変更（例：テスト的にバックアップタスクの設定を追加する）することで、バックアップタスクを強制終了させ「【現象】バックアップに時間がかかる」→49ページを参照して設定を変更し、再度バックアップを行ってください。

原因②　バックアップシステムが停止している

設定画面から製品の初期化を行い、再設定する必要があります。ネットワーク設定を初期化する（出荷時状態に戻す）方法は次のとおりです。

初期化は、初期化ボタンで行う方法とTeraStation設定画面で行う方法があります。

方法によって、初期化される設定内容が異なります。
※ハードディスクにあるデータ、および共有フォルダ情報は、初期化されません。
※初期化ボタンでの初期化でも改善しない場合はWEB設定画面での初期化をお試しください。

■初期化される設定内容

初期化される内容	(1) 初期化ボタンでの初期化	(2) WEB設定画面での初期化
IPアドレス	○	○
イーサネットフレームサイズ設定	○	○
管理者(admin)パスワード (WEB設定画面のログインパスワード)	※	○
TeraStation名称／説明	×	○
NTP設定	×	○
ワークグループ設定	×	○
共有サービス設定	×	○
共有フォルダのアクセス制限	×	○
ユーザ設定ユーザグループ設定	×	○
UPS設定	×	○
スリープ設定	×	○
バックアップ設定	×	○

記号の読み方　○：初期化される　×：初期化されない

※TeraStationの設定画面で［管理者パスワード］の設定によって異なります。
［初期化する］に設定した場合　　：初期化されます。　…(工場出荷時設定)
［初期化しない］に設定した場合　：初期化されません。

注意）［管理者パスワード］を［初期化しない］に設定してある状態で、TeraStationの管理者(admin)パスワードを忘れてしまった場合は、TeraStationの修理が必要になります。
設定を初期化いたしますので、製品を修理センターまでお送りください。（ただし、有償となります。）

(1)初期化ボタンでの初期化方法

TeraStationの「初期化ボタン」を使用し、設定を初期化する(出荷時状態に戻す)方法は次のとおりです。

1. TeraStation動作時(電源ランプ点灯時)に製品付属の鍵で前面カバーをあけます。

2. TeraStationの液晶ディプレイ下の「初期化スイッチ」をボールペンの先などで、ピッと音がするまで(約5秒間)押し続けます。

   例) TS-TGL/R5シリーズ



(2)WEB設定画面での初期化方法

TeraStationのWEB設定画面から初期化する（出荷時状態に戻す）方法は次のとおりです。

1. TeraStationの設定画面を表示させせます。

2. WEB設定画面からフォーマットを行います。

   ①［メンテナンス］-［初期化］をクリックします。

   ②「初期化を実行」のボタンをクリックします。

   ③「TeraStationを初期化します。」というウィンドウが表示されますので、[OK］をクリックします。

工場出荷時設定（初期値）

TeraStationの初期化実行後の値については、各製品の「ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

【現象】バックアップに時間がかかる

原因①　アクセスのある時間帯に行っている

バックアップは容量やディレクトリ構造により時間がかかる場合があります。アクセスのない時間帯に実行することを推奨します。

原因②　上書きバックアップ（完全/増分バックアップ）、上書きバックアップ（完全/差分バックアップ）で運用している

バックアップの動作モードの特徴やバックアップオプションの機能が分からない場合は、以下の説明を参考にバックアップの設定を行ってください。

上書きバックアップ(完全/増分バックアップ)、上書きバックアップ(増分バックアップ)

バックアップ元のファイル/フォルダを消去してもバックアップ先に残ります。バックアップ動作でバックアップ先のデータ削除しない場合に選択します。「完全/増分」と「増分」バックアップの結果は同じです。「増分」を選択した場合更新ファイルのみを上書きしますのでバックアップ時間を短縮できます。

上書きバックアップ(完全/差分バックアップ)、上書きバックアップ(差分バックアップ)

バックアップ元のファイル/フォルダを消去するとバックアップ先でも削除されます。バックアップ元とバックアップ先のデータを同じ内容にしたい場合に選択します。「完全/差分」と「差分」バックアップの結果は同じです。「差分」を選択した場合更新ファイルのみを上書きしますのでバックアップ時間を短縮できます。

原因③　バックアップとRAIDメンテナンス機能の機能実行時間が重複している バックアップの各タスクの実行時間が重複している

バックアップと RAID メンテナンス機能の実行時間が重複しないように運用します。また、バックアップの各タスクの実行時間が重複しないように運用してください。

原因④　暗号化転送を使用している

バックアップ設定として以下のオプション設定を選択することができます。

暗号化転送を使用する

バックアップ元から先への転送時にデータ暗号化して送ります。このオプションを設定してバックアップしても、バックアップデータは暗号化されません。通常は OFF で運用していただいて問題ありませんが、転送中データを何らかの方法で読み出されることを危惧される場合は ON で運用してください。ON にすることで動作に負荷がかかりますのでバックアップ時間が通常よりかかる場合があります。

原因⑤　圧縮転送を使用している

バックアップ設定として以下のオプション設定を選択することができます。

圧縮転送を使用する

バックアップ元から先への転送中にデータを圧縮します。このオプションを設定してバックアップしても、バックアップデータは圧縮されません。通常は OFF で運用していただいて問題ありませんが、バックアップ経路が混雑している場合は、バックアップ速度を向上できる場合があります。ON にすることで動作に負担がかかりますのでバックアップ時間が短縮されるとは限りません。

【現象】バックアップログが生成されない

原因①　バックアップログが生成されない設定になっている

設定画面のバックアップオプションで「バックアップログファイルを作成する」にチェックが入っているか確認します。

ON にすることでバックアップ元フォルダの直下にバックアップログのテキストファイルが作成されます。バックアップエラーが発生した際に原因の特定ができる場合がありますので ON での運用を推奨します。

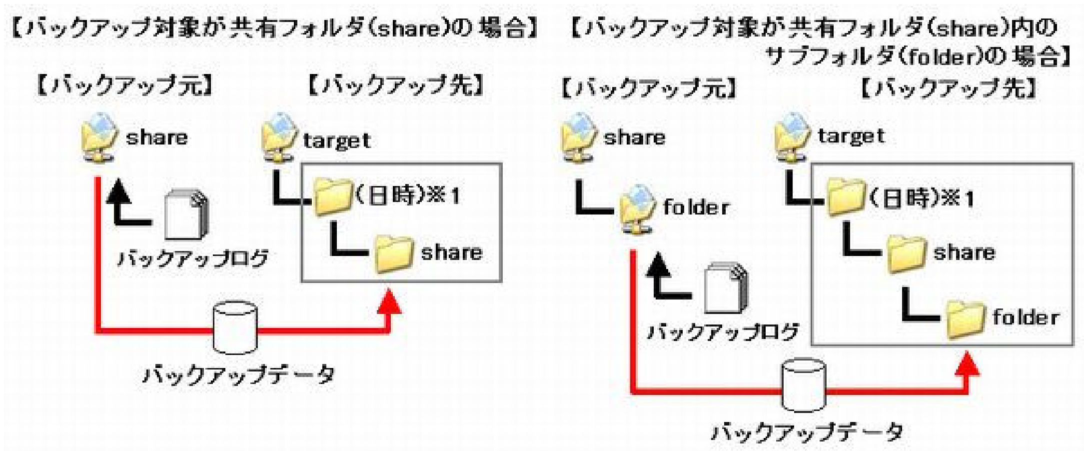
原因②　バックアップログの生成場所がわからない

TeraStation のバックアップ機能は、製品、ファームウェアバージョンによって、保存される場所が異なります。

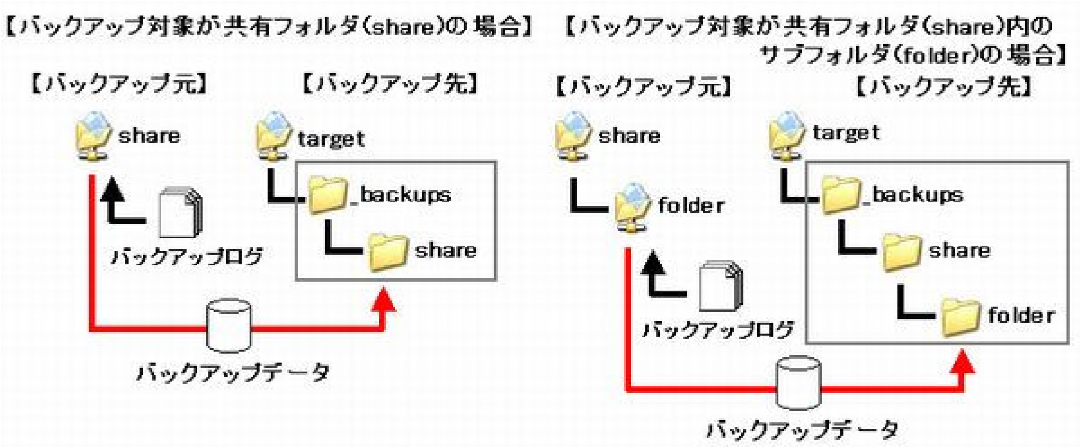
TS-TGL/R5 シリーズ（ファームウェア 1.02 以前）

バックアップ元となるフォルダや動作モード、オプションによってバックアップデータの保存先や作成されるフォルダなどが変化します。
バックアップデータ、バックアップログの作成先は図をご覧ください。
※枠で囲まれたフォルダはバックアップ時に作成されます。

■通常　（毎回全てのファイルをバックアップを上書きしないでコピーする）



■上書き（バックアップ実行時に毎回全てのファイルを上書きコピーする）
■上書き(差分)（ファイルサイズ/タイムスタンプ*2 に変化のあるファイルのみ上書きコピーする）



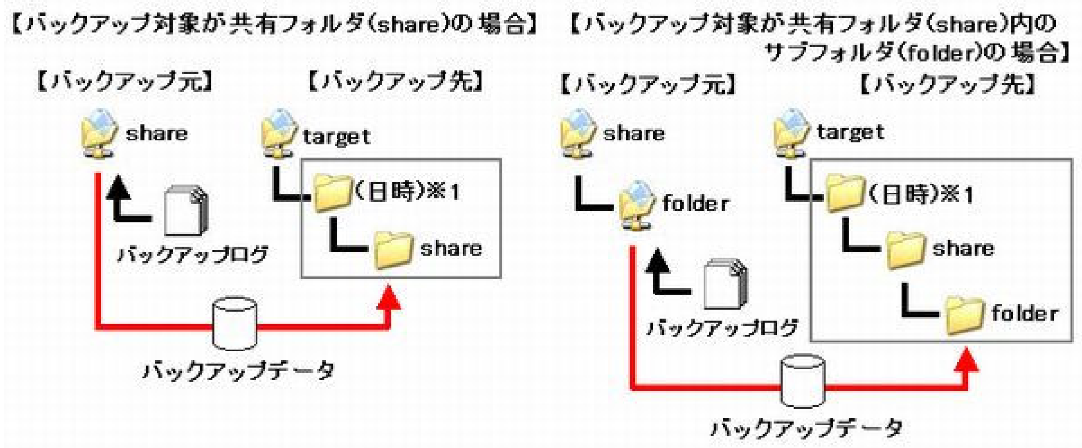
*1　日時には、バックアップ開始時刻を、yyyymmddhhmm 形式で作成されます。
　　例）2004 年 3 月 27 日 19 時 55 分の場合、フォルダ名は"0403271955"と表示されます。
*2　ここでの「タイムスタンプ」とは Windows、Macintosh から確認ができる時刻情報ではなく、TeraStation が管理している時刻情報です。

・USB ハードディスクをバックアップ先とした場合、「target」は「usbdisk*」と表示されます。「*」には 1～4 の数字が入ります。
・TeraStation にバックアップした場合、「target」はバックアップ先の共有フォルダ名が表示されます。
・バックアップログはバックアップ元フォルダ内に以下の名前で作成されます。
※バックアップログを生成しない設定はできません。
　backuplog(バックアップタスク番号)_(バックアップ開始時刻).txt
　例）2004 年 3 月 27 日 19 時 55 分の場合、" backuplog1_200403271955.txt" が作成されます。

TS-TGL/R5 シリーズ（ファームウェア 1.03 以降）
TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5、HS-DHTGL/R5 シリーズ

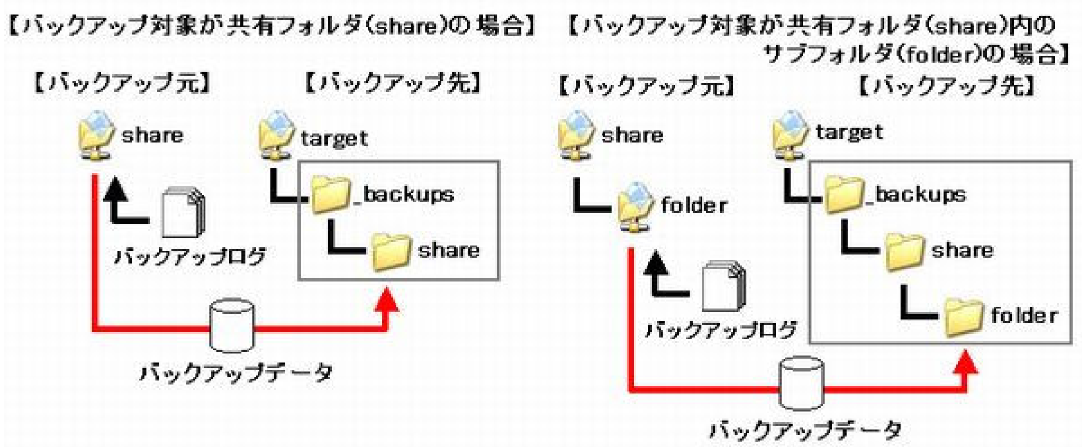
バックアップ元となるフォルダや動作モード、オプションによってバックアップデータの保存先や作成されるフォルダなどが変化します。
保存先については動作モードとオプションを下記の表から選択してください。
※四角で囲まれたフォルダはバックアップ時に作成されます。

■通常　（毎回全てのファイルをバックアップを上書きしないでコピーする）

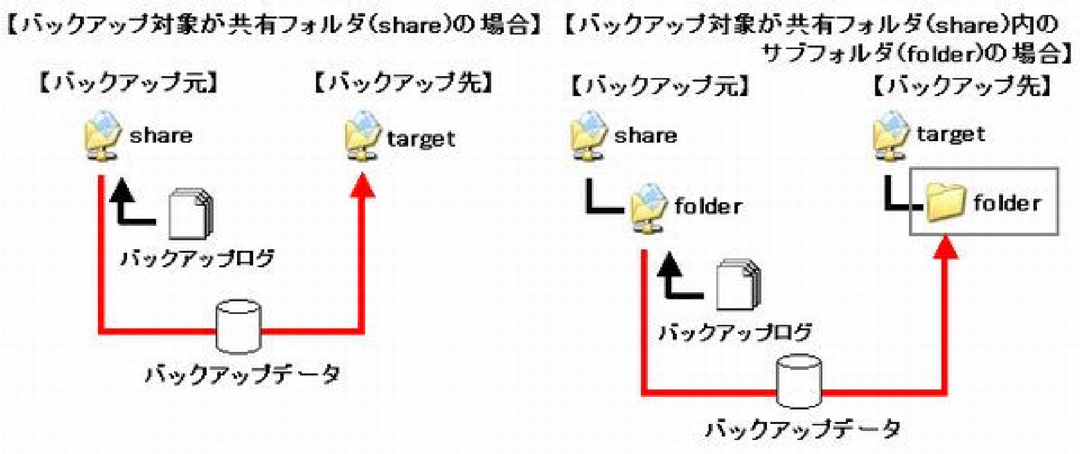


■上書き(完全/増分)　（バックアップ実行時に毎回全てのファイルを上書きコピーする）
■上書き(増分)　（ファイルサイズ/タイムスタンプ*2 に変化のあるファイルのみ上書きコピーする）

【バックアップオプション［バックアップ元が識別可能なフォルダを作成する］にチェックを入れた場合】



【バックアップオプション［バックアップ元が識別可能なフォルダを作成する］に
チェックを入れない場合　※4】

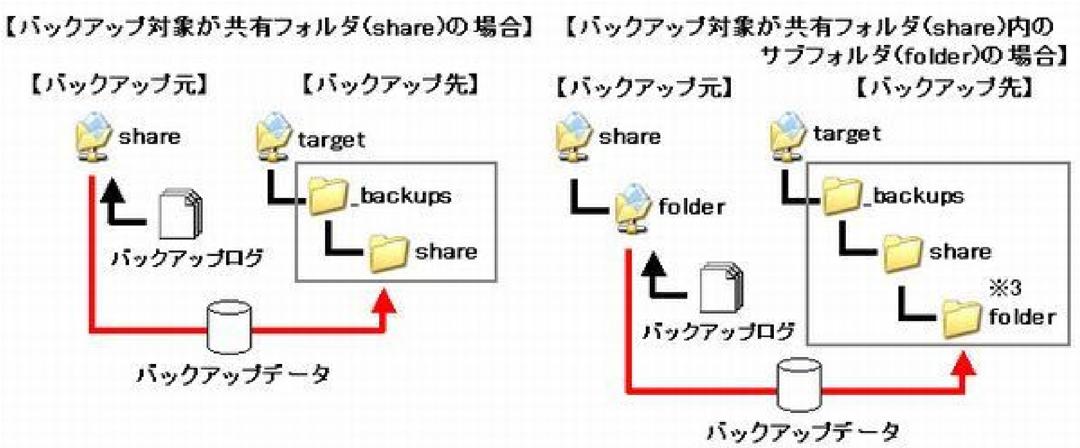


■上書き(完全/差分)　(バックアップ実行時に毎回全てのファイルを上書きコピーする)

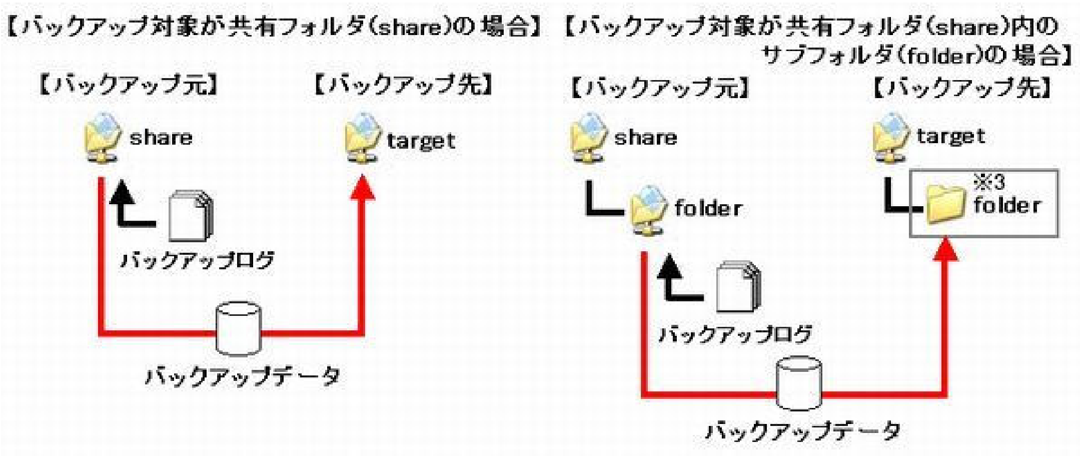
■上書き(差分)　(ファイルサイズ/タイムスタンプ*2 に変化のあるファイルのみ上書きコピーする)

※バックアップ先にのみ存在するファイル/フォルダは削除されます。

【バックアップオプション［バックアップ元が識別可能なフォルダを作成する］にチェックを入れた場合】



【バックアップオプション［バックアップ元が識別可能なフォルダを作成する］に
チェックを入れない場合　※4】



・USB ハードディスクをバックアップ先にした場合、「target」は「usbdisk*」と表示されます。
「*」には 1～2 の数字が入ります。

・TeraStation にバックアップした場合、「target」はバックアップ先共有フォルダ名が表示されます。

・バックアップログはバックアップ元フォルダ内に以下の名前で作成されます。
※バックアップログの生成させる、させない設定は WEB 設定画面上で可能です。
backuplog(バックアップタスク番号)_(バックアップ開始時刻).txt
例　2004 年 3 月 27 日 19 時 55 分の場合、”backuplog1_200403271955.txt” が作成されます。

※バックアップモードが、『上書き（差分)』、『上書き（完全/差分)』設定時、バックアップの設定内容によっては
バックアップ先に保存されているデータを削除する場合があります。

*1　日時には、バックアップ開始時刻を、yyyymmddhhmm 形式で作成されます。
例）2004 年 3 月 27 日 19 時 55 分の場合、フォルダ名は"0403271955"と表示されます。

*2　ここでの「タイムスタンプ」とは Windows、Macintosh から確認ができる時刻情報ではなく、TeraStation が管理している時刻情報です。
*3　バックアップフォルダより上の共有フォルダ内でのファイルの差異が合った場合は、ファイル削除されることはありません。

*4　「バックアップ動作モード」の設定内容によっては期待した結果を得られない場合があります。設定する際は、ヘルプの確認とバックアップの動作テストの実施を強くお勧めします。

原因③　バックアップ自体が開始されていない

「【現象】タイマーバックアップが実行されない」→56 ページを参照してください。

【現象】タイマーバックアップが実行されない

原因　前回のバックアップがエラー終了している

設定画面のバックアップオプションで「エラー終了した場合も強制的に次回バックアップを実行する」にチェックが入っているか確認します。

エラー終了した場合も強制的に次回バックアップを実行する

バックアップスケジュールを設定している状態で通信エラーなどによりバックアップがエラー終了した場合、OFF に設定しておくと次回バックアップが開始されません。
ON にしておくとバックアップでエラーが発生しても次回のスケジュールを強制的に実行します。ただし、バックアップエラーの原因を取り除かないと次回もバックアップエラーとなる場合があります。

【現象】バックアップログの読み方がわからない

原因　バックアップログの読み方がわからない

バックアップログ生成に対応する製品

TeraStation　HD-HTGL/R5、HS-DHTGL/R5、HS-DTGL/R5、TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5、TS-TGL/R5 シリーズ
LinkStation　HD-HGLAN、HS-DGL、HS-DHGL（/M)、LS-GL、LS-HGL、LS-WTGL/R1、LS-WSGL/R1 シリーズ

※LS-GL、HS-DHGL、HS-DHGL/M、HS-DHTGL/R5、TS-RHTGL/R5、TS-HTGL/R5 シリーズのバックアップログの 2 バイト文字は、制限事項により文字化けします。

上記の TeraStation では、バックアップ実行時にログを生成することが可能です。
バックアップのログの読み方、失敗時の対策については、下記をご参照ください。

どんなバックアップログが生成されるか

バックアップログは下記のように出力されます。

実際のログ

TeraStation、LinkStation のバックアップのログは下記のように記録され、バックアップ完了後、バックアップ元にテキストファイルとして保存されます。

```
-------- BEGIN BACKUP 2006/09/07 18:05:44 array1/share -> TS-TGL6FO@usbdisk1 --------
building file list ...
174 files to considercreated
directory /mnt/usbdisk1/_backups


./・・・・(バックアッププリスト)


sent 24057 bytes received 3340 bytes 18264.67 bytes/sec
total size is 14847 speedup is 0.54
-------- END BACKUP 2006/09/07 18:05:45 array1/shrare -> TS-TGL6FO@usbdisk1 --------
```

バックアップログの読みかた

バックアップログの読み方については、下記をご参照ください。

```
-------- BEGIN BACKUP（バックアップ開始時刻）（バックアップ元共有フォルダ）->
（バックアップ先共有フォルダ） --------
   building file list ...
(バックアップ対象ファイル数) files to consider
※created directory （バックアップの際に新規作成されるフォルダ名)・・・※バックアップ元のファイルリストが表示されます。
・・・

sent (1.転送バイト数) bytes received (2.受信バイト数) bytes (3.平均転送速度) bytes/sectotal size is (4.転送された総容量) speedup is (5.転送効率)
※エラーログ
-------- END BACKUP（バックアップ終了時刻）（バックアップ元共有フォルダ）-> （バックアップ先共有フォルダ)--------
```

1.転送バイト数	バックアップ元からバックアップ先に対して送られた情報量です。4.転送された総容量　に加え、バックアップ機能を制御するための情報が含まれます。
2.受信バイト数	バックアップ元がバックアップ先から受け取った情報量です。バックアップ機能を制御するための情報が含まれます。
3.平均転送速度	バックアップ機能(rsync)によってバックアップ元からバックアップ先にバックアップした際の平均転送速度です。
4.転送された総容量	バックアップ元のデータがバックアップ機能(rsync)によってバックアップした際の総容量です。
5.転送効率	バックアップ機能(rsync)を使用した場合の転送効率です。通常のファイルコピーに比べ、バックアップ機能（rsync）を使用することで、どの程度効率的にバックアップが行うことができたかを判別します。 ※算出式　4.転送された総容量 / (1.転送バイト数　+　2.受信バイト数)

バックアップが失敗したときは

バックアップでエラーが発生した場合のエラーログの読み方・対策は下記をご参照ください。
ログの中に、ログ内に"error"、"code **"という表示がある場合は、
バックアップの際に何らかのエラーが発生しています。(**には数字が入ります。)

エラーログの内容、原因、対策につきましては下記をご参照ください。

エラー内容	ログの中に"code 12"を含んでいる。
原因	・バックアップ先との接続（セッション）が切断された ・転送経路のHUBの電源が落ちていた ・バックアップ経路で通信が不安定になった（無線区間など）
対策	・バックアップ動作中、バックアップ先機器のWEB設定画面による設定変更、再起動ディスクチェックなどを行わない ・ネットワーク環境の見直し（無線を有線に切り替える等）を行う
ログの例	rsync: read error : Connection reset by peer (104) rsync error: error in rsync protocol data stream (code 12) at io.c(515) rsync error: error in rsync protocol data stream (code 12) at io.c(359)　等

エラー内容	ログの中に"code 20"を含んでいる。
原因	・バックアップ中にプロセスが強制終了している
対策	・バックアップ中にバックアップ元、バックアップ先のWEB設定画面を変更・操作を行わない
ログの例	rsync error: received SIGUSR1 or SIGINT (code 20) at rsync.c(231)rsync error: received SIGINT, SIGTERM, or SIGHUP (code 20) at rsync.c(242) [sender]　等

エラー内容	ログの中に"code 23"を含んでいる。
原因	・バックアップ元のファイル、フォルダに、LinkStation、TeraStationの使用禁止文字が使用されている ・コピーできない特定のフォルダをコピーしようとしている。
対策	・禁止文字を使用しないようにフォルダ名、ファイル名を変更する ・コピーできない特定のファイルを削除する。※FAT32形式のUSBハードディスクにバックアップできない場合　XFSにフォーマットを行うことで回避される場合があります。
ログの例	rsync error: some files could not be transferred (code 23) at main.c(892) [sender=2.6.8] rsync error: some files could not be transferred (code 23) at main.c(702)　等

エラー内容	ログの中に″code 24″を含んでいる。
原因	・バックアップ中にプロセスが強制終了している ・バックアップ開始時に、バックアップ元ファイルを、tmp ファイル（一時ファイル）を作るソフトウェア（word、excel）等で編集していた
対策	・バックアップ元のファイルを編集しないようにする
ログの例	rsync error: some files vanished before they could be transferred (code 24) at main.c(702)rsync warning: some files vanished before they could be transferred (code 24) at main.c(702)　等

【現象】簡単バックアップに失敗する

原因①　簡単バックアップのバージョンが古い

簡単バックアップのアップデータを以下のページにてご用意しています。
ソフトをアップデートして、再度動作をご確認ください。

■ダウンロードサイト
http://buffalo.jp/download/driver/hd/backup.html

原因②　常駐ソフトウェアが影響している

常駐ソフト(ウィルスチェックソフト等のシステム管理系のソフト)が影響して正常にバックアップ動作ができない場合があります。
常駐ソフトがインストールされている場合には、常駐を停止したり、プログラムを対象から外すなどして動作をご確認ください。

常駐ソフトの詳細な設定方法に関しては、ご利用のソフトメーカーへお問合せください。

原因③　バックアップ元データに問題が発生している

バックアップ元データに問題が発生していないかどうか、以下のような方法でご確認ください。

・他のドライブへはコピー可能かどうか。
・手動でのコピーに問題はないかどうか。

また、OS などのシステムをバックアップすることはできません。

原因④　バックアップ元データのパスが長すぎる

LinkStation・TeraStation をご利用の場合、『バックアップ先のパス』『バックアップ元のパス』『ファイル名』を併せた文字の長さが 240 バイト以上である場合はバックアップができない場合があります。

上記の場合は、以下をお試しください。

・バックアップ元を変更する。
（パス長＋ファイル名の長さが 240 バイト未満になる場所に移動する。）

・「圧縮バックアップ」を行う。
※バックアップ元のサイズが 2G バイト以上の場合は圧縮バックアップできません。

【質問】アクセス制限の基本的な仕様が分からない

回答　TeraStation のアクセス制限の仕様、制限事項は以下の通りです

基本仕様

・アクセス制限は、ワークグループ環境にて使用、ドメイン認証機能にて使用にかかわらず、各パソコンへログイン時のユーザ ID にて動作する動作となります。
※必ず、各パソコンへ、個別のユーザ ID、パスワードにてログインする必要があります。

・アクセス制限は共有フォルダ単位で設定します。
※共有フォルダ内に保存されたファイルやフォルダなどに個別に設定することはできません。
・アクセス制限はユーザ単位、グループ単位で設定することができます。
・アクセス制限は「書込可能」「読取専用」「アクセス権なし」の 3 段階で設定することができます。
・ユーザ単位でのアクセス制限、グループ単位でのアクセス制限で「書込可能」「読取専用」の制限が重複した場合は「読取専用」が優先されます。
(「アクセス権なし」と「書込可能」「読取専用」が重複した場合は、「書込可能」「読取専用」が優先されます)

例)共有フォルダに[ユーザ a]は「書込可能」、[グループ A]は「読取専用」でアクセス制限が設定されており、[ユーザ a] が[グループ A]に登録されている場合は、[ユーザ a]は共有フォルダに対して読取専用の権限があります。
共有フォルダに[ユーザ a]は「アクセス権なし」、[グループ A]は「書込可能」で設定されている場合は[ユーザ a]は[グループ A]に属しているので共有フォルダに対して書込可能の権限があります。

制限事項

・アクセス制限を設定するには各パソコンへのログインユーザ名、パスワードを TeraStation へローカルユーザとして登録する必要があります。
また、パスワードも必ず設定されている必要があります。
※未設定、空白のパスワードではアクセス制限機能が機能しません。

・アクセス制限が設定されている TeraStation へアクセスする場合は、ワークグループでのご使用、ドメイン認証でのご使用にかかわらず、TeraStation に登録されているユーザ名、パスワードでログインする必要があります。

・TeraStation へ登録したユーザ名、パスワードと異なるユーザ名でパソコンへログインした場合、正常な認証が行われず、アクセス制限が正常に機能しない場合があります。

【現象】アクセスする権限はあるがユーザ名とパスワードを要求される

原因①　登録されているユーザ名、パスワードがWindows ログイン時と異なっている

「TeraStation の WEB 設定画面で登録したユーザ名、パスワード」と「Windows 起動時のユーザ名、パスワード（下図参照)」が異なっている場合、正常にアクセスできない、アクセス制限が正常動作しない場合があります。

アクセス制限機能を使用するために TeraStation にユーザを登録する場合は、Windows 起動時のユーザ名、パスワード（下図参照）を WEB 設定画面で登録するユーザ名、パスワードに設定してください。



→



TeraStation のアクセス制限機能が正常動作しているかを確認するには

●アクセス許可である共有フォルダにアクセスした場合：
　　ユーザ名パスワードなどを入力することなくアクセスすることができます。
●アクセス不可である共有フォルダにアクセスした場合：
　　ユーザ名パスワードなどを入力させるメッセージが表示されます。

※Windows XP、Windows 2000 ではネットワークログイン名が異なっていた場合、ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されますが、入力した場合でも、正常な認証が行われない場合があります。

原因②　ひとつのユーザ名を複数のパソコンで使用している

TeraStationのアクセス制限機能は、Windowsログオン時のアカウントを使用します。
そのため、複数台のパソコンから同一のアカウントでネットワークにログオンしてTeraStationにアクセスする場合、アクセス制限、ファイル共有ともに正常に動作しない可能性があります。

アクセス制限を設定する場合は、それぞれのパソコンに個別のユーザ、パスワードを作成し、それらをTeraStationに登録してください。

原因③　OS上でユーザ名を変更した

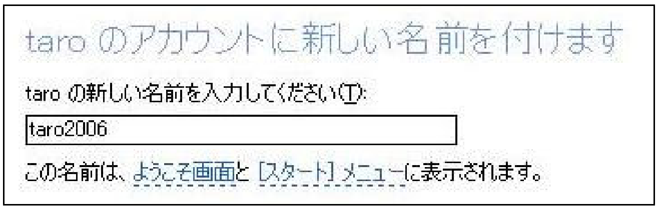
Windowsログイン時のユーザ名が以下の場合は、アクセス制限設定ができません。

該当ユーザ	NGユーザ例	理由	対策
漢字を使ったユーザ	太郎、管理者	TeraStation に登録できないため	Windowsのユーザを新規作成する　※1
TeraStationの予約済みユーザ	root、admin	TeraStation に登録できないため	
パスワードが無いユーザ	—	TeraStation に登録できないため	既存のユーザにパスワードの設定する　※２
ユーザ名を変更したユーザ	taro→tarou	変更後のユーザ名でTeraStation が認証を行わないため	ユーザ名を元に戻す　※３

※1　Windowsアカウントの作成方法については、マイクロソフトホームページをご確認いただくか、ご利用のパソコンメーカーへご確認ください。

※2　［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［ユーザアカウント］で既存のユーザにパスワードを設定します。パスワードの設定方法については、マイクロソフトホームページをご確認いただくか、ご利用のパソコンメーカーへご確認ください。

※3　［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［ユーザアカウント］で元のユーザ名に戻します。（下図参照）変更したかどうか不明な場合、また、変更前のユーザ名が不明な場合は、マイクロソフトホームページをご確認いただくか、ご利用のパソコンメーカーへご確認ください。



使用文字の制限

TeraStation では、ユーザ名の登録、共有フォルダの登録等、設定する項目により、使用可能な文字の制限が異なります。

WEB 設定画面より設定する際に、使用可能な文字の制限につき以下をご確認ください。

※記載している項目名は WEB 設定画面上に表示されている名称です。
※本 QA での「半角英数字」とは、a〜z、A〜Z、0〜9 になります。以下のような記号は含みません。
　例） ドット(.)、カンマ(,)、アットマーク (@)、ハイフン(-)、アンダーバー(_)　等
※本 QA での「全角文字」とは、日本語、全角アルファベット、記号等です。以下は含みません。
　例） 英語以外の外国語（中国語、韓国語、ギリシャ語など)、機種依存文字　等
※全角文字は 2 バイト、半角文字は 1 バイトになります。

ワークグループ環境で使用する場合の文字制限

		基本設定	ネットワーク	共有フォルダ管理	グループ管理	ユーザ管理		ファイル名 サブフォルダ名
		TeraStationの名称 ※5	ワークグループ名 ※9	共有フォルダ名	グループ名 ※7※8	ユーザ名 ※7※8	パスワード ※6※8	
使用可能入文字	半角英数字	12 文字 ※3	15 文字 ※1※3	12 文字 ※2※3	12 文字	20 文字	20 文字	※10
	全角文字	×	7 文字 ※1	6 文字 ※2	×	×	×	※11
	ハイフン(-)	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○
	アンダーバー(_)	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○	○ ※4	○	○
	ドット（.）	×	○ ※4※12	×	○ ※4※12	○ ※4※12	×	○

※1　全角文字と半角文字を混在するときは 15 バイトまでです。
※2　全角文字と半角文字を混在するときは 12 バイトまでです。また、以下は共有フォルダ名に使用できません。
　　info、spool、usbdisk1、usbdisk2、usbdisk3、usbdisk4、lost+found、global、printers、homes、lp
※3　一文字目（文字列の先頭）に数字は使用できません。
※4　一文字目（文字列の先頭）には使用できません。
※5　以下は TeraStation 名称に登録できません。
　　usbdisk
※6　パスワードは 1 文字〜20 文字で設定します。
※7　以下は、ユーザ名、グループ名に登録できません。また、Windows 起動時に以下をユーザ名に使用しているパソコンからはアクセスができません。ご使用の TeraStation のシリーズを確認してください。

■TS-TGL/R5 シリーズ

root、bin、daemon、sys、adm、tty、disk、lp、sync、shutdown、halt、operator、nobody、mail、news、uucp、ftp、kmem、utmp、shadow、users、nogroup、all、none、hdusers、admin、guest、man、www、sshd

■TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5、HS-DHTGL/R5 シリーズ

root、bin、daemon、sys、adm、tty、disk、lp、sync、shutdown、halt、operator、nobody、 mail、news、uucp、ftp、kmem、utmp、shadow、users、nogroup、all、none、hdusers、 admin、guest、man、www、sshd、administrator

※8　すべて半角英数小文字で登録されます。"全角英大文字"、"半角英大文字"を使用することができません。
※9　すべて半角英数大文字で登録されます。"全角英小文字"、"半角英小文字"を使用することができません。
※10 Windows の場合は 255 文字以内、Macintosh の場合は 31 文字以内です。
表示されている文字数は、エクスプローラで使用する際に使用可能な文字数です。
アプリケーションソフトの仕様によっては、使用可能な文字数が異なる場合があります。
※11 Windows の場合は 120 文字以内、Macintosh の場合は 15 文字以内です。
表示されている文字数は、エクスプローラで使用する際に使用可能な文字数です。
アプリケーションソフトの仕様によっては、使用可能な文字数が異なる場合があります。
機種依存文字を使用した場合は、Macintosh で表示できない、Windows からも正常表示できない場合があります。
※12 TS-TGL/R5 シリーズのみ使用可能です。

ドメイン環境で使用する場合の文字制限

		基本設定	ネットワーク		共有フォルダ設定	グループ設定	ユーザ設定		ファイル名 サブフォルダ名
		TeraStationの名称 ※5	ドメイン名	PDC ホスト名	共有フォルダ名	グループ名 ※7※8	ドメインユーザ名 ※7※8	パスワード	
使用可能入力文字	半角英数字	12 文字 ※3	15 文字 ※1※3	12 文字 ※3	12 文字 ※2※3	12 文字	20 文字	―	※10
	全角文字	×	7 文字 ※1	×	6 文字 ※2	×	×	―	※11
	ハイフン(-)	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	―	○
	アンダーバー(_)	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○	○ ※4	―	○
	ドット(．)	×	○ ※4※12	○ ※4※12	×	○ ※4※12	○ ※4※12	―	○

※1　全角文字と半角文字を混在するときは 15 バイトまでです。
※2　全角文字と半角文字を混在するときは 12 バイトまでです。
また、以下は共有フォルダ名に登録できません。
info、spool、usbdisk1、usbdisk2、usbdisk3、usbdisk4、lost+found、global、printers、homes、lp
※3　一文字目（文字列の先頭）に数字は使用できません。
※4　一文字目（文字列の先頭）には使用できません。
※5　以下は TeraStation 名称に登録できません。
usbdisk
※7　ドメインユーザ名が以下であるユーザからはアクセスができません。ご使用の TeraStation のシリーズを確認してください。

■TS-TGL/R5 シリーズ

root、bin、daemon、sys、adm、tty、disk、lp、sync、shutdown、halt、operator、nobody、mail、news、uucp、ftp、kmem、utmp、shadow、users、nogroup、all、none、hdusers、admin、guest、man、www、sshd

■TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5 シリーズ

root、bin、daemon、sys、adm、tty、disk、lp、sync、shutdown、halt、operator、nobody、 mail、news、uucp、ftp、kmem、utmp、shadow、users、nogroup、all、none、hdusers、 admin、guest、man、www、sshd、administrator

※8　すべて半角英数小文字で登録されます。"全角英大文字"、"半角英大文字"を使用することができません。
※9　すべて半角英数大文字で登録されます。"全角英小文字"、"半角英小文字"を使用することができません。
※10　Windows の場合は 255 文字以内、Macintosh の場合は 31 文字以内です。表示されている文字数は、エクスプローラで使用する際に使用可能な文字数です。アプリケーションソフトの仕様によっては、使用可能な文字数が異なる場合があります。

※11 Windows の場合は 120 文字以内、Macintosh の場合は 15 文字以内になります。表示されている文字数は、エクスプローラで使用する際に使用可能な文字数です。
アプリケーションソフトの仕様によっては、使用可能な文字数が異なる場合があります。
機種依存文字を使用した場合は、Macintosh で表示できない、
Windows からも正常表示できない場合があります。
※12 TS-TGL/R5 シリーズのみ使用可能

原因④　ユーザの切り替え機能を使用している

Windows XP、Vista のパソコンでは、ユーザを変更する際に［ユーザの切り替え］（※）を行うとユーザのログオフが行われず、アクセス制限が正しく動作しない場合があります。

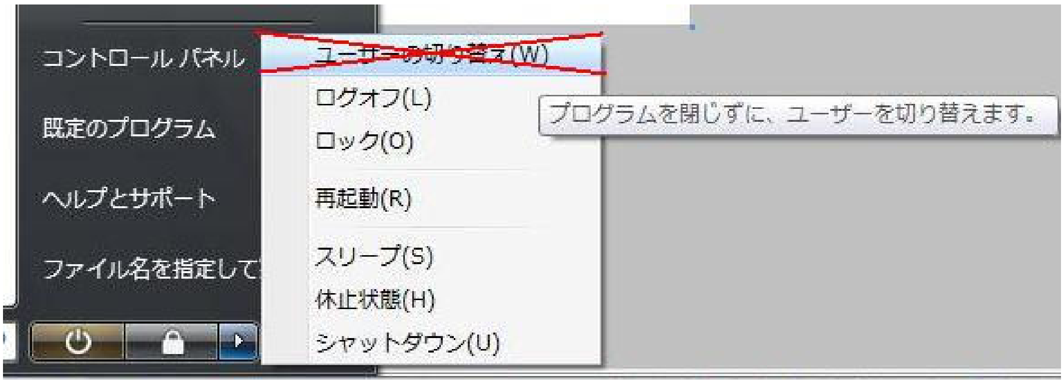
［ユーザの切り替え］は使用しないでご利用ください。
ユーザを変更する場合は、ログオフしてから再ログインを行うか、パソコンを再起動してください。

※［ユーザの切り替え］とは、［スタート］－［ログオフ］－［ユーザの切り替え］を実行する動作のことです。

【Windows XP の場合】



【Windows Vista の場合】



原因⑤　Windows Vista を使用している

アクセス制限設定時、Windows Vista の場合だけアクセスができないときは、以下の手順でソフトウェアのインストール・セキュリティレベルの変更を行ってください。

※ファイル共有セキュリティレベル変更ツールは Windows Vista でのみインストールが可能です。

1. 「TeraNavigator for TS-HTGL/R5（Windows)」をダウンロードします。
   ※「ファイル共有セキュリティレベル変更ツール」のインストールは全ての LinkStation、TeraStation をお使いの場合でも使用できます。

2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、[オプション] ー [個別ソフトウェアのインストール] を選択します

3. 「ファイル共有セキュリティレベル変更ツール」を選択し、[インストール開始] をクリックします。

4. インストール後、ファイル共有セキュリティレベルの設定を行ってください。

ファイル共有セキュリティレベル変更ツールの設定方法

WindowsVista から TeraStation*へのアクセスを行うために使用する「ファイル共有セキュリティレベル変更ツール」の設定方法をご案内します。

以下の場合にご使用ください。
１．認証サーバ連携機能で外部の SMB サーバに認証を委任している場合
２．以下の製品のアクセス制限が設定された共有フォルダにアクセスする場合
　　TeraStation（TS-TGL/R5、HS-DTGL/R5、HD-HTGL/R5 シリーズ）

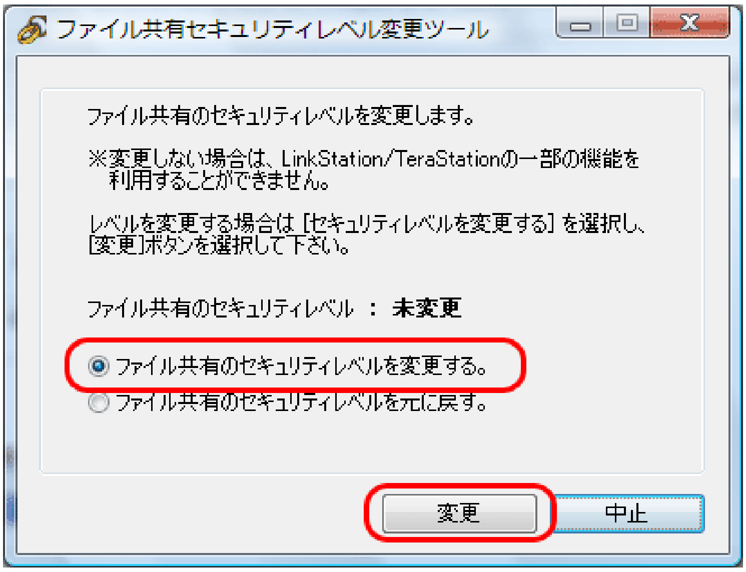
ファイル共有セキュリティレベル変更ツールは弊社 WEB サイトよりダウンロードが可能な TeraNavigator for TS-HTGL/R5（Windows からインストールできます。

※上記は TS-HTGL/R5 シリーズ用の Navigator ですが、「ファイル共有セキュリティレベル変更ツール」は製品に限らず使用が可能です。

セキュリティレベルを変更する

1. ［スタート］ー［BUFFALO］ー［ファイル共有セキュリティレベル変更ツール］ー［ファイル共有セキュリティレベル変更ツール］をクリックします。
   ※「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたときは、[続行] をクリックしてください。

2. ファイル共有セキュリティレベル変更ツールが起動します。



①［ファイル共有のセキュリティレベルを変更する］を選択します。
②［変更］をクリックします。

3. 「セキュリティレベルを変更します」と表示されたら、[はい］をクリックします。

4. 「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、[はい］をクリックします。
パソコンが再起動します。

以上でセキュリティレベルの変更は完了です。

セキュリティレベルを元に戻す

※本操作は TeraStation を使用しなくなった場合などに行ってください。

1. ［スタート］－［BUFFALO］－［ファイル共有セキュリティレベル変更ツール］－［ファイル共有セキュリティレベル変更ツール］をクリックします。
※「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行］をクリックしてください。

2. 「認証サーバ連携機能を利用したアクセス制限」を設定するときは、[ファイル共有のセキュリティレベルを元に戻す］を選択します。

3. ［変更］をクリックします。

以上で元に戻す設定は完了です。

【現象】アクセス制限がかけられない

原因①　サブフォルダにアクセス制限を設定しようとしている

仕様・制限事項

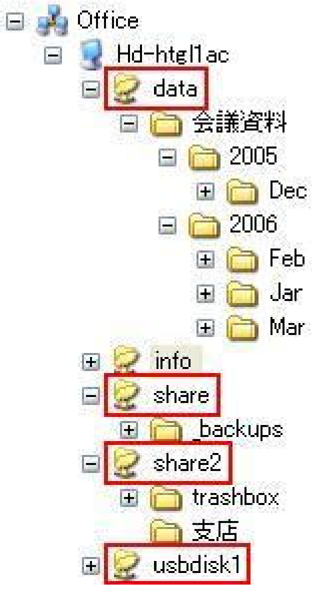
基本仕様

1. 共有フォルダ（図 data、share、share2）、USB ハードディスク（図 usbdisk1）に
   共有フォルダ属性を設定をする

※共有フォルダ属性は「読取専用」「書込可能」を選択可能です。
※USB ハードディスクが FAT16/32 のフォーマット形式（製品出荷時）の場合、上記設定にかかわらず、バックアップ実行時のみ書込可能です。
※共有フォルダに含まれるサブフォルダの属性は、共有フォルダの設定に依存します。

2. 共有フォルダ（図 data、share、share2）、USB ハードディスク（図 usbdisk1）に
   ユーザ、グループ単位でアクセス制限を設定する

※TeraStation のアクセス制限の仕組みは、予め登録されたユーザ、グループ単位に対して「書込可能」「読取専用」の権限を付与します。その為、どちらの権限も持たないその他のユーザは「アクセス不可」状態になります。
※共有フォルダに含まれるサブフォルダのアクセス制限は、共有フォルダの設定に依存します。サブフォルダにアクセス制限は設定できません。
※ドメイン環境でご使用の場合はドメインユーザに対して、「書込可能」「アクセス不可」のみの設定が可能です。(TS-TGL/R5 のみ)



図中赤枠のフォルダに対してアクセス制限を設定可能です。

制限事項

・TeraStationに登録するユーザ名、パスワードは、パソコン起動時のユーザ名、パスワードと同一である必要があります。
※パソコン起動時のユーザ名が漢字であるユーザ、パスワードが無いユーザは、TeraStationに登録できないため、アクセス制限設定ができません。
・Macintoshからの接続時、FTP接続時は、グループアクセス制限設定ができません。
・Microsoft ネットワークドメインでログオンしたとき、ドメインに登録されたユーザ名、グループ名を Macintosh ユーザのアクセス制限に使用することはできません。
・アクセス制限が設定可能なユーザ・グループは次のとおりです。

TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5シリーズ

		ワークグループ環境			ドメイン環境	
		ローカルユーザ	外部認証ユーザ	ローカルグループ	ドメインユーザ	ドメイングループ
ワークグループ設定	外部認証しない	○	−	○	−	−
	外部認証する	×	○	○	−	−
ドメイン設定		×	−	×	○	○

○:登録・使用可能、×:動作保証外、-:登録不可

TS-TGL/R5シリーズ

		ワークグループ環境			ドメイン環境	
		ローカルユーザ	外部認証ユーザ	ローカルグループ	ドメインユーザ	ドメイングループ
ワークグループ設定	外部認証しない	○	−	○	−	−
	外部認証する	△*1	○	○	−	−
ドメイン設定		○	−	△*2	○	−

○:登録・使用可能、△:使用時制限有り、-:登録不可
*1　外部認証設定時、既存のローカルユーザは外部認証ユーザに置換されます。ローカルユーザを使用する場合は、外部認証の設定実施後、追加する必要があります。
*2　ローカルグループにはローカルユーザのみ追加できます。

・Windows XPの「ユーザの切り替え機能」を使用した場合、正常にアクセスできない場合があります。
・出荷時設定されている「guest」アカウントをWindows XP/2000 のログイン時に使用した場合、「guest」アカウントに設定したアクセス制限が正常に動作しない場合があります。
・ドメインユーザによるアクセス制限は、「書込可能」「アクセス不可」のみ設定が可能になり、「読取専用」に設定することはできません。

※「共有フォルダ属性」「アクセス制限」の優先順位

共有フォルダに共有フォルダ属性を設定し、さらに各ユーザ/グループ毎にアクセス制限を設定した場合、共有フォルダに設定した共有フォルダ属性が優先されます。

「1.共有フォルダの共有フォルダ属性」　＞　「2.ユーザ/グループ毎のアクセス制限」

※「書込可能」「読取専用」の優先順位

同一ユーザにおいて「ユーザ単位」と「グループ単位」のそれぞれのアクセス制限を使用し、「書込可能」「読取専用」の両設定がされた場合は、「読取専用」にて動作します。

優先順位の例①
userA が groupG に所属している場合、
userA：読取専用、groupG：書込可能　の場合、userA は　読取専用　になります。
userA：書込可能、groupG：読取専用　の場合、userA は　読取専用　になります。

優先順位の例②
userA が groupG、groupH に所属している場合、
groupG：書込可能、groupH：読取専用　の場合、userA は　読取専用　になります。
groupG：読取専用、groupH：書込可能　の場合、userA は　読取専用　になります。

TeraStation の文字制限

TeraStation では、ユーザ名の登録、共有フォルダの登録等、設定する項目により、使用可能な文字の制限が異なります。

※記載している項目名は WEB 設定画面上に表示されている名称です。
※本 QA での「半角英数字」とは、a～z、A～Z、0～9 になります。以下のような記号は含みません。
　例）ドット(.)、カンマ(,)、アットマーク（@)、ハイフン(-)、アンダーバー(_)　等
※本 QA での「全角文字」とは、日本語、全角アルファベット、記号等です。以下は含みません。
　例）英語以外の外国語（中国語、韓国語、ギリシャ語など)、機種依存文字　等
※全角文字は 2 バイト、半角文字は 1 バイトになります。

ワークグループ環境で使用する場合の文字制限

		基本設定	ネットワーク	共有フォルダ管理	グループ管理	ユーザ管理		ファイル名 サブフォルダ名
		TeraStationの名称 ※5	ワークグループ名 ※9	共有フォルダ名	グループ名 ※7※8	ユーザ名 ※7※8	パスワード ※6※8	
使用可能入文字	半角英数字	12文字 ※3	15文字 ※1※3	12文字 ※2※3	12文字	20文字	20文字	※10
	全角文字	×	7文字 ※1	6文字 ※2	×	×	×	※11
	ハイフン(-)	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○
	アンダーバー(_)	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○	○ ※4	○	○
	ドット(.)	×	○ ※4※12	×	○ ※4※12	○ ※4※12	×	○

※1　全角文字と半角文字を混在するときは15バイトまでです。
※2　全角文字と半角文字を混在するときは12バイトまでです。また、以下は共有フォルダ名に使用できません。
info、spool、usbdisk1、usbdisk2、usbdisk3、usbdisk4、lost+found、global、printers、homes、lp
※3　一文字目（文字列の先頭）に数字は使用できません。
※4　一文字目（文字列の先頭）には使用できません。
※5　以下はTeraStation名称に登録できません。
usbdisk
※6　パスワードは1文字〜20文字で設定します。
※7　以下は、ユーザ名、グループ名に登録できません。また、Windows 起動時に以下をユーザ名に使用しているパソコンからはアクセスができません。ご使用のTeraStationのシリーズを確認してください。

■TS-TGL/R5 シリーズ

root、bin、daemon、sys、adm、tty、disk、lp、sync、shutdown、halt、operator、nobody、mail、news、uucp、ftp、kmem、utmp、shadow、users、nogroup、all、none、hdusers、admin、guest、man、www、sshd

■TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5、HS-DHTGL/R5 シリーズ

root、bin、daemon、sys、adm、tty、disk、lp、sync、shutdown、halt、operator、nobody、mail、news、uucp、ftp、kmem、utmp、shadow、users、nogroup、all、none、hdusers、admin、guest、man、www、sshd、administrator

※8　すべて半角英数小文字で登録されます。"全角英大文字"、"半角英大文字"を使用することができません。
※9　すべて半角英数大文字で登録されます。"全角英小文字"、"半角英小文字"を使用することができません。
※10 Windowsの場合は255文字以内、Macintoshの場合は31文字以内です。
表示されている文字数は、エクスプローラで使用する際に使用可能な文字数です。
アプリケーションソフトの仕様によっては、使用可能な文字数が異なる場合があります。
※11 Windowsの場合は120文字以内、Macintoshの場合は15文字以内です。
表示されている文字数は、エクスプローラで使用する際に使用可能な文字数です。
アプリケーションソフトの仕様によっては、使用可能な文字数が異なる場合があります。
機種依存文字を使用した場合は、Macintoshで表示できない、Windowsからも正常表示できない場合があります。
※12 TS-TGL/R5 シリーズのみ使用可能です。

ドメイン環境で使用する場合の文字制限

		基本設定	ネットワーク		共有フォルダ設定	グループ設定	ユーザ設定		ファイル名 サブフォルダ名
		TeraStation の名称 ※5	ドメイン名	PDC ホスト名	共有フォルダ名	グループ名 ※7※8	ドメインユーザ名 ※7※8	パスワード	
使用可能入力文字	半角英数字	12 文字 ※3	15 文字 ※1※3	12 文字 ※3	12 文字 ※2※3	12 文字	20 文字	－	※10
	全角文字	×	7 文字 ※1	×	6 文字 ※2	×	×	－	※11
	ハイフン (-)	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	－	○
	アンダーバー(_)	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	○	○ ※4	－	○
	ドット(．)	×	○ ※4※12	○ ※4※12	×	○ ※4※12	○ ※4※12	－	○

※1　全角文字と半角文字を混在するときは 15 バイトまでです。
※2　全角文字と半角文字を混在するときは 12 バイトまでです。
　　また、以下は共有フォルダ名に登録できません。
　　info、spool、usbdisk1、usbdisk2、usbdisk3、usbdisk4、lost+found、global、printers、homes、lp
※3　一文字目（文字列の先頭）に数字は使用できません。
※4　一文字目（文字列の先頭）には使用できません。
※5　以下は TeraStation 名称に登録できません。
　　usbdisk
※7　ドメインユーザ名が以下であるユーザからはアクセスができません。ご使用の TeraStation のシリーズを確認してください。

■TS-TGL/R5 シリーズ

root、bin、daemon、sys、adm、tty、disk、lp、sync、shutdown、halt、operator、nobody、mail、news、uucp、ftp、kmem、utmp、shadow、users、nogroup、all、none、hdusers、admin、guest、man、www、sshd

■TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5 シリーズ

root、bin、daemon、sys、adm、tty、disk、lp、sync、shutdown、halt、operator、nobody、 mail、news、uucp、ftp、kmem、utmp、shadow、users、nogroup、all、none、hdusers、 admin、guest、man、www、sshd、administrator

※8　すべて半角英数小文字で登録されます。"全角英大文字"、"半角英大文字"を使用することができません。
※9　すべて半角英数大文字で登録されます。"全角英小文字"、"半角英小文字"を使用することができません。
※10　Windows の場合は 255 文字以内、Macintosh の場合は 31 文字以内です。表示されている文字数は、エクスプローラで使用する際に使用可能な文字数です。アプリケーションソフトの仕様によっては、使用可能な文字数が異なる場合があります。

※11 Windows の場合は 120 文字以内、Macintosh の場合は 15 文字以内になります。表示されている文字数は、エクスプローラで使用する際に使用可能な文字数です。
　　アプリケーションソフトの仕様によっては、使用可能な文字数が異なる場合があります。
　　機種依存文字を使用した場合は、Macintosh で表示できない、Windows からも正常表示できない場合があります。
※12 TS-TGL/R5 シリーズのみ使用可能

アクセス制限機能の設定

TeraStation のアクセス制限機能を使用することで、共有フォルダ、USB ハードディスクに対してアクセス可能、アクセス不可能などの制限を設定することができます。

【手順 1】アクセス制限設定する環境を確認

アクセス制限機能を使用する場合は、予め機能の仕様・制限事項をご確認ください。

【手順 2】ユーザ登録

パソコンのユーザを TeraStation に登録します。

【手順 3】共有フォルダに対してアクセス制限を設定

① WEB 設定画面を開きます。
② ［共有フォルダ設定］をクリックします。
③ アクセス制限を設定する共有フォルダの名称をクリックします。
④［アクセス制限機能］の「使用する」を選択します。
⑤ アクセス権限（読取専用、書込可能）を付与するユーザ、グループを選択し、「←」「→」ボタンで移動させ、「設定」をクリックします。

【手順 4】動作確認

アクセス制限が正常に動作しているかを確認します。
アクセスが可能なユーザが共有フォルダにアクセスした場合には、ユーザ名パスワードの入力画面が表示されることなく、共有フォルダ内のファイルが表示されます。
※ アクセス不可能なユーザは、ユーザパスワードの入力画面が表示されます。

アクセス制限の設定例

TeraStation のアクセス制限機能について説明します。

ワークグループ設定時

■設定できるアクセス制限の例

・共有フォルダ、USB ハードディスクに全てのユーザ/グループが「書込可能」を設定する
・共有フォルダ、USB ハードディスクに全てのユーザ/グループが「読取専用」を設定する
・共有フォルダ、USB ハードディスクにユーザ/グループ毎に「書込可能」「読取専用」を設定する

■設定できないアクセス制限の例

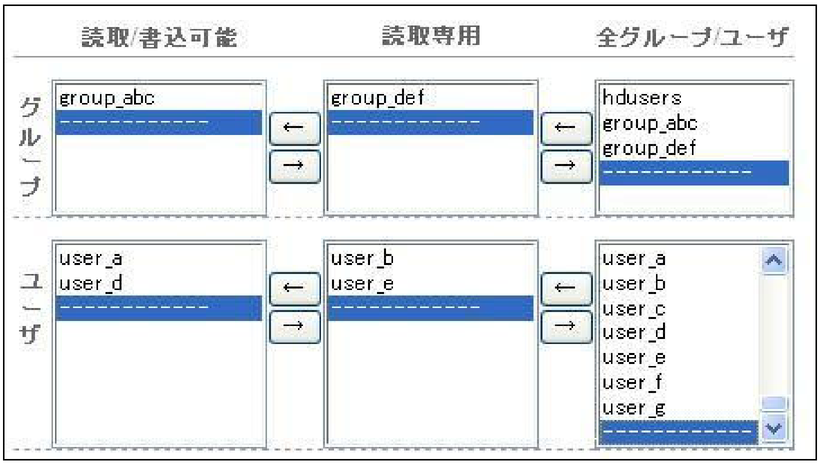
・共有フォルダ、USB ハードディスク以外のサブフォルダ（第 2 階層以下のフォルダ）や、ファイルそれぞれについて「読取専用」「書込可能」を設定する
・共有フォルダ、USB ハードディスクに対して、「削除禁止」等の限定制限を設定する
・共有フォルダ、USB ハードディスクに対して、同時にアクセスできるユーザ数を制限する
・共有フォルダ、USB ハードディスクに対して、IP アドレス、MAC アドレスでのアクセス制限
・パスワードを入力するだけで共有フォルダにアクセス可能となるように設定する
※操作 OS によっては、サブフォルダ（第 2 階層以下のフォルダ）のプロパティで
「セキュリティ」タブが表示されますが正常動作しない可能性があるため、TeraStation の WEB 設定画面のアクセス制限設定以外はお控えください。

■アクセス制限の具体例

【1】前提条件

TeraStation のユーザに　user_a　user_b　user_c　user_d　user_e　user_f　user_g を登録。
TeraStation のグループに　group_abc　に　user_a　user_b　user_c　を登録。
TeraStation のグループに　group_def　に　user_d　user_e　user_f　を登録。

【2】TeraStation のアクセス制限内容（Web 設定画面）



【3】アクセス制限結果

ユーザ	グループ単位でのアクセス制限設定（上図参照）	ユーザ単位でのアクセス制限設定（上図参照）		設定されるアクセス権限
user_a	group_abc：「読取/書込可能」	user_a：「読取/書込可能」	→	読取/書込可能
user_b		user_b：「読取専用」	→	読取専用
user_c		user_c：「全グループ/ユーザ」	→	読取/書込可能
user_d	group_def：「読取専用」	user_d：「読取/書込可能」	→	読取専用
user_e		user_e：「読取専用」	→	読取専用
user_f		user_f：「全グループ/ユーザ」	→	読取専用
user_g	－	user_g：「全グループ/ユーザ	→	アクセス不可

NT ドメイン設定時

■設定できるアクセス制限の例

・共有フォルダ、USB ハードディスクに全てのユーザ/グループが「書込可能」を設定する
・共有フォルダ、USB ハードディスクに全てのユーザ/グループが「読取専用」を設定する*
・共有フォルダ、USB ハードディスクにユーザ/グループ毎に「書込可能」「読取専用」を設定する*

＊　ドメインユーザは読取専用を設定することはできません。
（TS-TGL/R5、TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5 シリーズのみ）

■設定できないアクセス制限の例

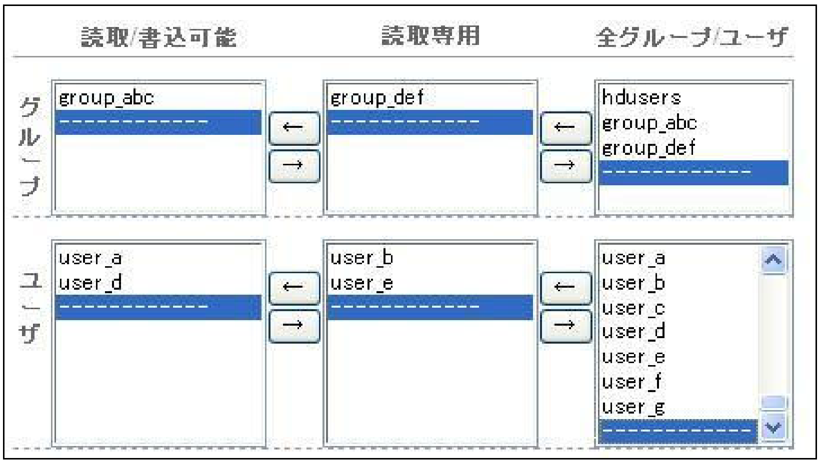
・共有フォルダ、USB ハードディスク以外のサブフォルダ（第 2 階層以下のフォルダ）や、ファイルそれぞれについて「読取専用」「書込可能」を設定する
・共有フォルダ、USB ハードディスクに対して、「削除禁止」等の限定制限を設定する
・共有フォルダ、USB ハードディスクに対して、同時にアクセスできるユーザ数を制限する
・共有フォルダ、USB ハードディスクに対して、IP アドレス、MAC アドレスでのアクセス制限
・共有フォルダ、USB ハードディスクに対して、ドメイングループでアクセス制限
・パスワードを入力するだけで共有フォルダにアクセス可能となるように設定する
※操作 OS によっては、サブフォルダ（第 2 階層以下のフォルダ）のプロパティで「セキュリティ」タブが表示されますが正常動作しない可能性があるため、TeraStation の WEB 設定画面のアクセス制限設定以外はお控えください。

■アクセス制限の具体例

【1】前提条件

TeraStation のユーザに　user_a　user_b　user_c　user_d　user_e　user_f　user_g を登録。
TeraStation のグループに　group_abc　に　user_a　user_b　user_c　を登録。
TeraStation のグループに　group_def　に　user_d　user_e　user_f　を登録。

【2】TeraStation のアクセス制限内容（Web 設定画面）



【3】アクセス制限結果

ユーザ	グループ単位でのアクセス制限設定（上図参照）	ユーザ単位でのアクセス制限設定（上図参照）		設定されるアクセス権限
user_a		user_a：「読取/書込可能」	→	読取/書込可能
user_b	group_abc：「読取/書込可能」	user_b：「読取専用」	→	読取専用
user_c		user_c：「全グループ/ユーザ」	→	読取/書込可能
user_d		user_d：「読取/書込可能」	→	読取専用
user_e	group_def：「読取専用」	user_e：「読取専用」	→	読取専用
user_f		user_f：「全グループ/ユーザ」	→	読取専用
user_g	－	user_g：「全グループ/ユーザ」	→	アクセス不可

※ドメインユーザを読取専用にすることはできません。

グループによるアクセス制限を使用する際のご注意
（ユーザ単位でのアクセス制限が必要である例）

【Q1】 A グループを「読取専用」、 A グループ内のユーザ X を「読取/書込可能」にしたい
【A1】 以下の設定を行ってください。

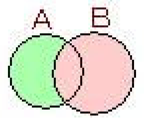
対象者	設定箇所
ユーザ X 以外の A グループに所属するユーザ（ユーザ単位）	「読取専用」
ユーザ X（ユーザ単位）	「読取/書込可能」

【Q2】 A グループを「読取専用」、 A グループ内のユーザ X を「アクセス不可」にしたい
【A2】 以下の設定を行ってください。

対象者	設定箇所
ユーザ X 以外の A グループに所属するユーザ（ユーザ単位）	「読取専用」
ユーザ X（ユーザ単位）	「全グループ/ユーザ」

【Q3】 「読取専用」の A グループと、「読取/書込可能」の B グループがあり、A グループにのみ所属するユーザを

「読取専用」、 B グループにのみ所属するユーザを「読取/書込可能」、 どちらのグループにも所属するユーザを「読取/書込可能」にしたい



【A3】 以下の設定を行ってください。

対象者	設定箇所
設定箇所　A グループ（グループ単位）	「全グループ/ユーザ」
B グループ（グループ単位）	「読取/書込可能」
B グループに所属しない A グループのユーザ（ユーザ単位）	「読取専用」

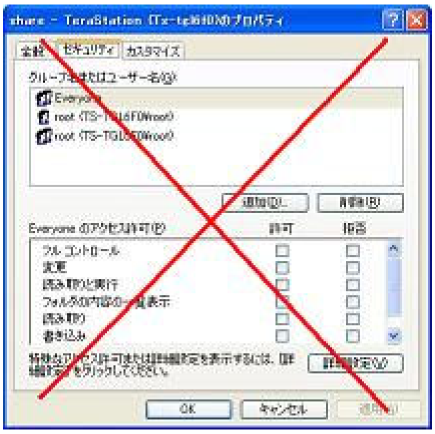
原因②　Windows の標準機能でアクセス制限を設定している（Windows Vista/XP/2000）

【詳細】
Windows 標準のアクセス制限機能を設定していると、TeraStation に設定したアクセス制限機能が動作しません。

【対象環境】
Windows Vista、Windows XP、Windows 2000

TeraStation のアクセス制限機能は、WEB 設定画面から共有フォルダに対してのみ設定が可能です。

TeraStation 内のフォルダのプロパティで表示されるセキュリティタブでアクセス制限を設定した場合、ファイルアクセスが正常動作しなくなる場合がありますので設定しないでください。



TeraStation にコピーしたフォルダの所有者情報は搭載の OS の仕様上、保持できません。

そのため、表示上所有者情報などが変更されることがありますが、ファイル共有において問題はありません。

【質問】アクセス制限の為にドメインや ActiveDirectry に参加したいが正しく設定されない

原因①　TeraStation とドメインコントローラとの時刻の差が約 5 分以上ある

ドメインコントローラや ActiveDirectry の内部時計と TeraStation の内部時計とで 5 分以上ズレが生じている場合、ドメインの参加やユーザ/グループの認証が正常に行われない場合があります。
以下の手順で TeraStation の内部時計を、ドメインコントローラや ActiveDirectry の内部時計に合わせて設定し直してください。

【手順１】

Web 設定画面を開いて[基本]を選択します。

【手順２】

「時刻設定」で時刻を設定して「設定」ボタンを押します。

※ドメインや ActiveDirectry から Web 設定画面を開きますと、[設定中の PC から現在時刻を取得]ボタンで簡単に内部時計を合わせることができます。

原因②　ドメイン、ActiveDirectry がシングルドメイン環境ではない

シングルドメイン環境以外（信頼関係が構築されたドメイン環境など）では、ドメインユーザ/グループの取得・ドメイン参加が正常に行えない場合があります。

※詳細につきましては、設定ガイド「制限事項」を参照ください。

【現象】グループ単位でアクセス制限が機能しない

原因　Macintosh からの接続、FTP 接続でグループ単位のアクセス制限機能を使用している

Macintosh ユーザまたは FTP 接続する登録ユーザに対してアクセス制限を設定するときは、ユーザ単位で行ってください。
グループ単位でアクセス制限を設定するとアクセス制限が正常に動作しない場合があります。

なお、本内容は制限事項です。

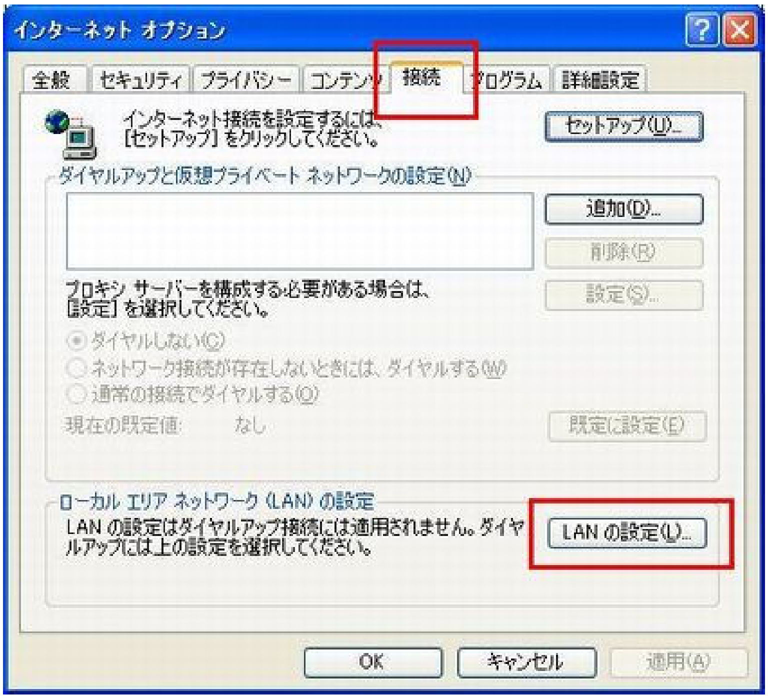
【現象】WEB 設定画面が開けない

原因①　ブラウザが「プロキシサーバーを使用する」設定になっている

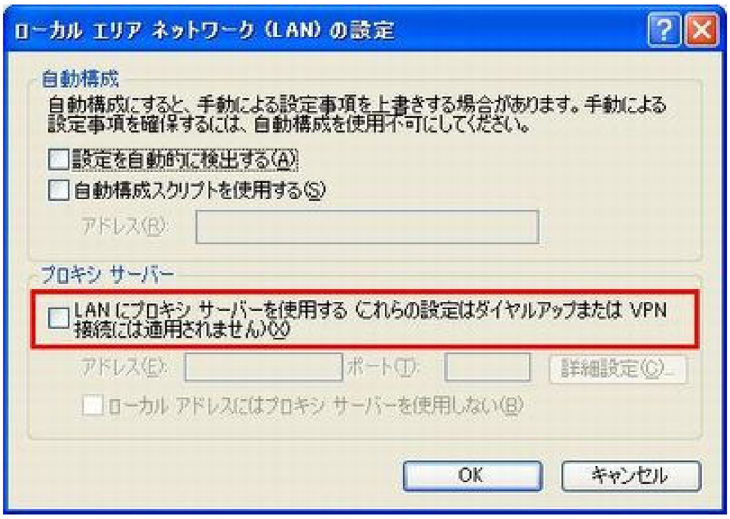
TeraStation の WEB 設定画面が表示されない場合は、ブラウザにプロキシサーバーが設定されている可能性があります。「InternetExploler 6」の場合を例に説明します。

1. ［スタート］－（［設定］）－［コントロールパネル］を開き、［インターネットオプション］をダブルクリックします。
   ※ Windows XP の場合、コントロールパネルを「クラシック表示」に切り替えます。

2. ［接続］タブをクリックし、［LAN の設定］をクリックします。



3. ［プロキシサーバーを使用する］にチェックが入っている場合、チェックを外し、［OK］をクリックします。（※）



※［プロキシサーバー］のチェックマークを外したくないときは

① ［プロキシサーバー］欄の［詳細］をクリックします。
② ［次で始まるアドレスにはプロキシを使わない］欄に、製品の IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

4. 「インターネットのプロパティ」画面を［OK］で閉じます。

製品の IP アドレスを確認する

1. ［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［BUFFALO NAS Navigator］－［BUFFALO NAS Navigator］をクリックします。

2. BUFFALO NAS Navigator が起動します。

3. 確認したい TeraStation 名のタブを選択します。

4. IP アドレス欄に TeraStation の IP アドレスが表示されます。

原因②　ブラウザのセキュリティレベルが高い

ご利用のブラウザのセキュリティレベルが高い場合、WEB 設定画面の表示段階で、ユーザ名、パスワードを入力する画面が表示されない場合があります。
※一時的にセキュリティレベルを［イントラネット］に設定してください。

次の手順で設定を変更します。
※「InternetExploler 6」を例に説明しています。

1. InternetExploler 6 を起動します。

2. ［ツール］－［インターネットオプション］を選択します。

3. ［セキュリティ］タブ内のセキュリティレベルを［ イントラネット］ を選び、［既定のレベル］をクリックします。
※既に「既定のレベル」に設定されている場合はグレーになっています。



4. 設定完了後は下記のようになります。



※設定画面での設定などが完了後、元の設定に戻してご利用ください。

原因③　セキュリティポリシーなどによって WEB 画面の表示が制限されている
（Windows Server2003 等）

ご利用の OS によっては、セキュリティポリシーなどによって、WEB 設定画面の表示を制限している場合があります。ネットワーク管理者に確認し、次の手順の操作をご検討ください。

次の手順で設定を変更します。
※「InternetExploler 6」を例に説明しています。

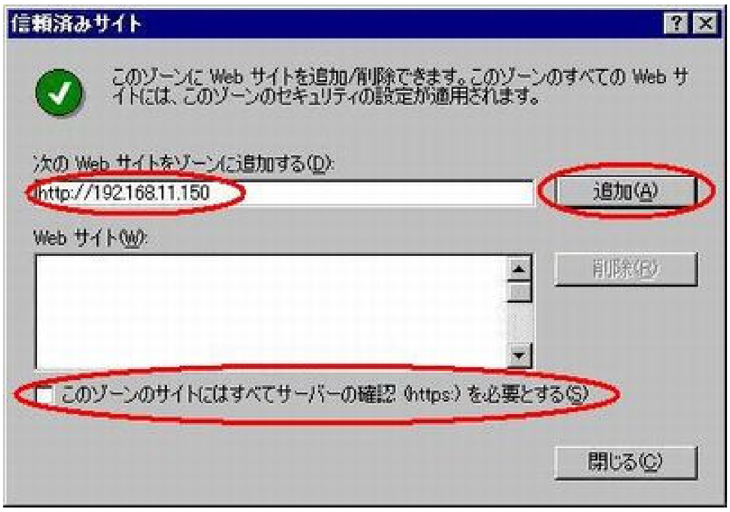
1. ［スタート］－（［設定］）－［コントロールパネル］を開き、［インターネットオプション］をダブルクリックします。
   ※Windows XP の場合、コントロールパネルを「クラシック表示」に切り替えます。

2. ［ツール］－［インターネットオプション］を選択します。

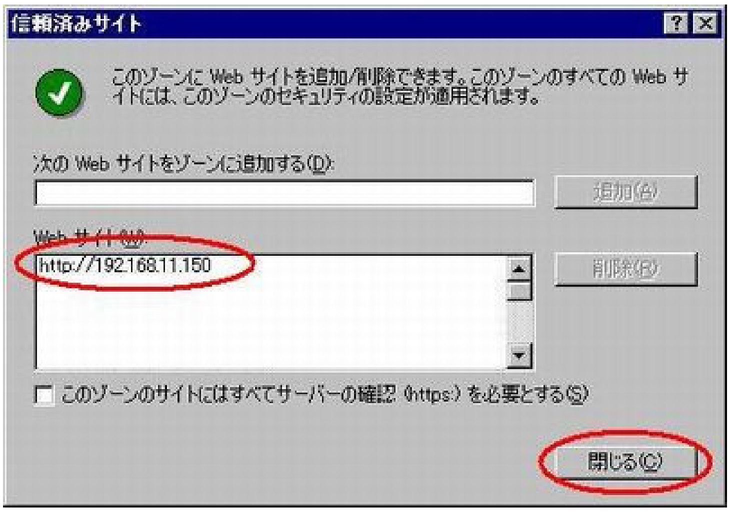
3.　［セキュリティ］タブ内のセキュリティレベルを［信頼済みサイト］を選び、［サイト］をクリックします。



4.　［次のウェブサイトをゾーンに追加する］に、WEB 設定画面のアドレスを記載し、［このゾーンのサイトにはすべてのサーバの確認（https:）を必要とする(S)］のチェックを外し、［追加］をクリックします。



5. ［Web サイト］に WEB 設定画面のアドレスが追加されたら［閉じる］をクリックします。



原因④　ユーザ名、パスワードが違う

設定画面ログイン時のユーザ名、パスワードが違うと設定画面にアクセスできません。
ユーザ名、パスワードが違っていないかを確認します。

出荷時のユーザ名パスワードは次のように設定されています。

■TeraStation(TS-HTGL/R5、TS-RHTGL/R5、TS-TGL/R5、HS-DHTGL/R5 シリーズ)

ユーザ名： admin（変更できません）
パスワード： password

※パスワードを忘れてしまった場合は、TeraStation の設定を初期化した後に、再度パスワードの設定を行ってください。

【現象】メール通知機能でディスクエラー通知のメールが到着しましたが、どう対処したらいいですか

回答　メールの内容によって対策が異なります

TeraStation の内蔵ハードディスクの読み書き時に、ハードディスクユニット内のエラーを検知した場合にディスクエラー通知を送信します。
読み込み時、書き込み時のどちらでエラーが発生したかによって送信されるメッセージが異なります。

ディスクエラー通知が送信されただけではハードディスクが故障しているとは判断されておりません。
ハードディスクが故障しているかどうかは TeraStation 本体前面の FAIL ランプが赤く点灯しているかどうかで判断します。

■読み込みエラー

TeraStation の内蔵ハードディスクの読み込み時にエラーが発生した場合、このエラー通知が送信されます。
エラーが発生した時点でエラーは修正されています。

【メッセージ例文】　RAID5 モードの場合
　RAID5 ディスクの読み込みエラーが発生しました。
　<u>RAID ドライブのエラーは自動的に修復されます。</u>
　すぐに故障に至ることはありませんが、
　定期的なデータのバックアップをお勧めします。

しかし、読み込みエラーが累計で一定数を超えて発生するとハードディスクが故障する可能性が高い為、表示されるメッセージが下記のように変化します。

【メッセージ例文】　RAID5 モードの場合
　RAID5 ディスクの読み込みエラーが発生しました。
　<u>エラーが発生した箇所を含むデータは復元できません。</u>
　すぐに全体の故障に至ることはありませんが、
　定期的なデータのバックアップをお勧めします。

このエラー通知が届いた時点ではハードディスクは故障と判断されていませんが、
故障する可能性が高い状態です。該当のハードディスクの交換を検討してください。

なお、読み込みエラーの回数はメール通知機能の定期報告通知で確認することが出来ます。
エラーのカウントについては、修復されると 0 になりますので、累積の値ではありません。

【メッセージ例文】2 番ハードディスクに 1 回読み込みエラーがある場合
［RAID エラー発生状況］

	DISK1	DISK2	DISK3	DISK4
システム領域	0	0	0	0
RAID アレイ 1	0	1	0	0

■書き込みエラー

TeraStation の内蔵ハードディスクの書き込み時にエラーが発生した場合、このエラー通知が送信されます。
書き込み時にエラーが発生しますと、ハードディスクが故障する可能性が高い状態となります。

【メッセージ例文】　RAID5 モードの場合
　RAID5 ディスクへの書き込みエラーが発生しました。
　すぐにディスクを交換してください。
　RAID はデグレードモード（障害状態）で動作しますが、
　なるべく早くデータのバックアップとディスクの交換をお勧めします。

このエラー通知が届いた時点ではハードディスクは故障と判断されていませんが、
故障する可能性が高い状態です。該当のハードディスクの交換を検討してください。

【質問】内蔵ハードディスクが１台故障した場合、どのように対応すればいいですか

回答　故障した内蔵ハードディスクを交換してください

RAID0 以外で RAID が構築されていた場合、内蔵ハードディスクが１台故障しても
保存されていたデータは保持されます。
故障したハードディスクは TeraStation から取り外して修理センターへ送っていただければ、
保証期間中であれば修理・交換対応いたします。
※内蔵ハードディスクの保証期間は TeraStation 本体と同じく購入日から１年間です。

戻ってきたハードディスクを取り付け、RAID の再構築を行うことで元の状態に戻ります。

また、交換用内蔵ハードディスクも別途販売しておりますのでそちらをご購入いただき、
交換していただく事もできます。
交換用ハードディスクと交換した場合でも、保証期間内でしたら故障したハードディスクを
修理センターに送ることで修理・交換対応を受けることが出来ます。
修理・交換された内蔵ハードディスクは予備としてお手元で保存してください。

ハードディスクの取り外し方につきましては、設定ガイド「ハードディスクを交換する」を参照ください。

【質問】ハードディスクが故障し交換したが、同じハードディスクが故障する

回答　本体一式を修理センターにて確認させてください

本体に問題が発生している可能性があります。ハードディスクを入れた状態、もしくは同梱いただき、本体一式を
修理センターにて確認致しますので、修理センターまでご送付ください。

修理について

修理は以下のバッファロー修理センターまでご依頼ください。
※修理品送付の前に弊社への連絡は不要です。

保証書について

修理送付前に本製品添付の保証書記載の保証契約約款をよくお読みください。

修理 web 予約

弊社ホームページより修理の web 予約、受け付けた修理品の状況確認が可能です。
86886.jp/shuri/　　（http://www 不要）

送付先住所

〒457-8570　愛知県名古屋市南区豊田 3-3-5
株式会社バッファロー修理センター受付宛

電話番号

052-698-7330
※ご依頼の修理品に関するお問い合わせのみ承っております。
月～金（祝日は除く）　9：30～12：00、13：00～17：00

送付いただく物

本製品、本製品付属品、保証書（原本）、修理依頼票（※）
※修理依頼票は弊社ホームページよりダウンロード可能です。修理依頼票を添付できない場合は、以下の「必要な情報」を記載した資料を製品と一緒にお送りください。

【注意事項】

※発送は宅配便等控えが残る方法にてお送りください。控えが残らない郵送は固くお断りいたします。
※修理依頼時の送料は、送り主様の負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。輸送会社に保証していただくなどの措置をお取りください。
※ハードディスク、フラッシュメモリ等の記憶装置内のデータは保証できませんので、修理に送付される前に予めお客様にてバックアップをとっていただきますようお願いします。
※TeraStation、LinkStation は、修理の際に出荷時の状態に戻す為、設定内容（接続ユーザー名/パスワード等）を消去しますので、ご送付前に必ず設定内容を控えてください。
※修理期間は、製品到着後 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。
※修理させていただいた製品の保証期間は、元の保証期間の終了日又は、修理完了日より 3 ヶ月間のいずれか長い方となります。

【必要な情報】

1. 返送先（氏名・住所、電話番号（内線）、FAX 番号）
2. 平日昼間の連絡先（氏名・住所、電話番号（内線）、FAX 番号）
3. バッファロー製品名
4. バッファロー製品のシリアルナンバー
5. 具体的な症状/エラーメッセージ
6. 発生状況（初めから・ある日突然等）
   発生頻度（必ず、時々、時間が経つと等）
7. ご使用環境（パソコン機種名、OS（Windows XP 等）、周辺機器）
8. 製品以外の添付品（AC アダプタ、ケーブルなど）

TeraStation　トラブルシュート集

2008 年 6 月 1 日　第 4 版発行
発行／株式会社バッファロー
35010220　ver.04　4-01　C10-012